

回答No.	公共施設再配置構想(たたき台Ver.2)について、御意見やアイデア等を教えてください	回答方法	掲載日
1	小作台図書室について、機能を継続・建物を維持して欲しい	WEB	3月19日
2	<p>気になった点は小学校の統合です。 統合すること自体、少子化ですし仕方ないことだと認識しています。 しかし、松林小の統合は本当にしているものかと疑問です。 なぜかという、情緒固定学級はどうなってしまうのか不安に思ったからです。 羽村市唯一の情緒固定学級を無くし、新たに情緒固定学級を作るのには分かりませんが、仮に新たに違う学校に作るとなった場合、児童にとっても教員にとっても保護者にとっても負担のかかることだと考えます。 また、松林小学校は特別支援教室の拠点校でもあります。 上記と同じ理由で、拠点校を無くし新たに作るというのは大変なことだと考えます。 羽村動物園を使った登校も無くなってしまうのも残念です。</p> <p>せめて、武蔵野小学校を統合する案はないのでしょうか。 検討していただきたいと思います。</p>	WEB	3月19日
3	スポーツセンター、スイミングセンターをよく利用させてもらっています。2つともかなり故障が目立ちます。是非早めの修理、交換をお願いします。近隣の人達にも人気のメニューがあり自慢です。施設ではありませんが、公園の管理のひどさが目立ちます。青梅の公園が近くにありますがとても行き届いています。残念です。	WEB	3月19日
4	松林小学校の武蔵野小統合について反対します。我が家は松林小学区内です。現在松林小学校に通っている子と、未就学児がおります。小学校の近さを考慮して今住んでいる家を購入しました。それがたったの数年でいきなり別の学校へ行けというのは配慮が無さすぎると思います。家を購入する時点で、あと数年後に松林小学校が無くなるという話が出ていたのならわかります。でも私達が購入した時点ではまだその話はありませんでした。あまりにも急ぎすぎます。もっと長期的な計画であるべきだと思います。せめて現在未就学児がいる家庭では、その子達が松林小学校を卒業するまでは統廃合はしないでほしいと思います。そして通学時間が長くなる事、大きな交差点を横断しなくてはならない事はとても心配です。松林小学校は現在少人数であるからこそ、きめ細かい教育ができていても感じています。どうかもっと長期的な目で考えていただきたいと思います。	WEB	3月19日
5	老朽化した施設を維持、建て替えるには反対です。多少不便になっても集約化に賛成です。	WEB	3月19日
6	小中学校の統合はどんなことがあっても避けなければなりません。学校は地域の象徴であるものなので、在校生だけでなく卒業生にとっても地域住民にとっても大切な財産ですから。	WEB	3月19日
7	<p>私の意見としましては、合併(ここでは学校教育施設)には反対です。子どもの人数が減っている事実はあると思いますが、いくつか懸念点があります。</p> <p>①学校の場所が変わることによるストレスや、子どもへの負担(不登校児も増えているとのことだったのでそれが余計に加速してしまわないか?)。 ②学級数ないしは生徒が増えることで教員の負担も増えるのではないか。(新たに移動してくる生徒の情報管理と把握、教室等の整備・調整など) ③4月から自転車の法律改正で歩道走行が罰金になること、朝の時間帯は交通量がかなり多いことなどから安全面としての不十分さ。</p> <p>そこで、合併ではなく学区の整理をするべきではないかと思う。現在は地区によって配属の学校が決められていると思う。しかしそうではなく、最も自宅から近い学校にすることで生徒自身の通いやすさや、極端な人数の偏りが改善されるのではないかと考えています。</p> <p>ご検討よろしくお願いたします。</p>	WEB	3月19日
8	武蔵野小学校、松林小学生統合について。武蔵野小学校に子どもが在籍しています。統合自体の見直しが出来ないなら時期を出来るだけ遅くしてほしいです。統合となると環境等いろいろ変わるので準備の時間が必要です。今年9月に素案を作成し来年4月に統合というのはなしです。時期が決まったら最低でも一年以上前に発表していただきたいです。もしかしら引越しを考えたり等。個人的には第一期の最後の2030年にしてほしいです。慌てて統合する必要がわかりません。宜しくお願致します。	WEB	3月19日
9	青梅市民ですが、小作駅の近くに住んでいるので、広域利用で小作台図書室を時々使わせていただいております。ここから羽村市の本の貸借りが出来なくなってしまうたらとても不便になり残念です。広域利用者の存在も今一度お考えいただければと思います。	WEB	3月19日
10	<p>広報はむらNo.1161のp.3を閲覧しました。</p> <p>◇この「整理統合の方向性」によると、スポーツセンターについてはI期で「是正計画の検討・策定」とありますが、なぜ検討・策定に5年間も掛かるのでしょうか。何を計画しようとしていて、どの程度の期間を見込んでいるのか、具体的な内容を示してください。</p> <p>◇検討・策定している間、また何らかの工事を開始するまで、第1ホールは閉鎖のままでしょうか。天井に防護ネットを設置するなどして、1日でも早く利用可能にさせていただきたいです。全面は無理でも3分の1、2分の1でも検討してください。</p>	WEB	3月19日
11	行政系施設が集約化により処分されることについて、本庁舎へ集約することや他の公共施設へ移転する案が出ていますが、本庁舎も他公共施設も老朽化が進み、お世辞にも広さに余裕があるとは言えません。また、行政機能が市内に分散することは、行政手続きを行う市民の不便性にもつながります。コミュニティセンターまたは西分室を大きく建て替え、複数機能を統合した新しい施設の建造を推奨します。	WEB	3月19日

回答No.	公共施設再配置構想(たたき台Ver.2)について、御意見やアイデア等を教えてください	回答方法	掲載日
12	どこかにすでに書いてあったらすみません。大々的に公共施設を整理統合していくにあたり、「事前復興」の視点が重要だと考えます。箱物をこれだけ減らしても、大災害があった時にはこの地域の住民はここに避難すれば十分避難生活が送れるというような計画です。今後大災害が起こった際に1人でも多くの命を救うためには、大事な視点だと思います。おそらくそういう視点は担当部署は持っているとは思いますが、この構想にもしっかり明記しておくことが説得力にもつながると思います。また、会館のスマートロック化について、触れられていましたが、すぐにでも実行すべきだと感じています。初めて会館を使う方や使いたい方が予約方法や鍵の受け渡しの手間によって、借りることをためらっているという問題は現実としてあり、利用率の低さにつながっていると思います。借りやすくなれば利用率も上がり、使用料や使い方を見直すことにより、施設の維持費を賄えると思います。会館を減らす前にこれをやるべきではないでしょうか？地域コミュニティやいざという時の地域力を考えると会館の存在意義は大きいですし、住民の生命と財産を守るという点においても重要だと思います。	WEB	3月19日
13	武蔵野小学区に住んでおり、2歳と0歳の子供がいます。31Pに掲載されている推計によれば、上の子供が小学校に上がる令和12年には、武蔵野小学校の1年生は1クラスになってしまうとのことで衝撃を受けました。個人的な感覚ですが、やはりなるべく多くの友達に出会える機会があった方が子供にとって良いと思うので、できれば早めに松林小学校と統合してほしいと思います。	WEB	3月19日
14	平日夜間急患センター継続の希望 子供が小学生ぐらいまでは、何度かお世話になりました。急な発熱など、お薬を出していただいたり本当に助かりました。今後もあって欲しいです。 場所は、保健センターでいいです 駐車場も停めやすいので。	WEB	3月30日
15	小中学校の統廃合については、建物の老朽化を考慮すると、維持する学校の建て替えと合わせて早めの方針を示すべきであると思います。計画の決定が早ければ早いほど、準備できることは多いと思います。	WEB	3月30日
16	既にver.1で述べられていましたが、是非外部コンサルを入れて街づくりを進めて下さい。具体的な希望を挙げているのは昔から羽村に住んでいる方々で、転居してきた者、独身者などは「とにかく魅力的な街になって欲しい」と思っているのでは？視野を広げて考えない限り、何も変わらないと思います。ふるさと納税をやめて、羽村に投資したいと思えるような街になって欲しいです。	WEB	4月6日
17	現在、富士見平に居住し、未就学児がいるが、松林小学校が廃校になり、武蔵野小学校まで登校となると、就学直後の子供の足では30分以上かかり登校させることに関して、交通事故や不審者等、子供の安全性に疑問がある。 近隣の富士見小なら10分未満で登校出来る為、子供の足を考えるならば、小学校の登校距離に応じて、学校の区割りに関して見直して欲しい。現行区割りのまま、統廃合ではなく、松林小学校の地域は学区を全面的に見直し、移行期間を設定し近隣の小学校の選択性にしてもらいたい。現行区割りのままの統廃合には強く反対	WEB	4月6日
18	学校統合についてです。 学校統合は賛成です。武蔵野小、三中学区なので、子どもの少なさや9年間人との交流が狭いことに対して、ずっと気になっていました。今すぐにでも統合してほしいです。 ただ、反対意見があるのも承知しています。反対意見によって本格的に統合するのが先になるのであれば、ひとまず、試験的に学区を広げて希望制にするのはどうですか？ 三中学区の子も二中に行く選択肢があると、とても助かります。数年後といわず、来年から選択できるようにしてほしいです。 よろしくをお願いします。	WEB	4月13日
19	子供からシニアが満足することは求めず、「子供」、「シニア」など年齢層などにフォーカスした施設が良いのでは？ 再配置応援します！	紙	4月13日
20	・現状のものを統合した場合、今のところを使っている方もいるので、小さい形でも良いから、合同でも良いから残すことを考えてください。 ・市のサービスがどのようになっているのか、時代とともに変わっている内容を見える化して、それらの統合の内容をあわせて明確にするとわかりやすい。	紙	4月13日
21	コミュニティセンターについて 令和8年3月末で閉館となっていますが、建物はその後どうなるのでしょうか、閉館後、建物は解体工事に入るのでしょうか、それともそのまま放置されるのでしょうか、計画があれば公表することが必要だと思いますが、如何ですか。 解体工事が未定なら、有効に活用することを考えたらどうですか。利用料金を値上げしてでも利用したらどうですか。 壽楽園について 令和8年3月末と言わず、早めにいこいの里に移動したらどうですか。 羽村市公共施設再配置構想と関係ないですが、財政状況を考えて一言申し上げます。 財源について 計画の見直しを行い、重要でないものはカットしたらどうですか。 例えば、壽楽園、いこいの里の風呂(燃料費の高騰の為)、 議員も人数を減らしたら(人口に対し多いと思いますが)	紙	4月13日

回答No.	公共施設再配置構想(たたき台Ver.2)について、御意見やアイデア等を教えてください	回答方法	掲載日
22	<p>広報はむらNo.1161号3ページに老人福祉センターいこいの里(高齢福祉施設)について方向性(機能は継続・建物は維持)とあり、これには賛成です。この施設の課題は、通所介護施設が他に移転しそのスペースが空きになっている事です。私は、この空きスペース(縦10メートル程度×横10メートル程度)についてどのような事ができるか考えてみました。</p> <p>このスペースの活用ですが、この施設が老人福祉に資する事、狭いスペースを活かせるように建物の立地を生かす事の2点が必須かと考えました。</p> <p>いこいの里の立地は、羽村用水(根がらみ水田への用水路)をはさんで大正土手遊歩道と隣接しています。多摩川の対岸に羽村草花丘陵があり景観が良い立地と思います。</p> <p>私は以前からこの大正土手を散歩していて、コロナの外出自粛時期には人の列ができるほどのなかを歩きました。土手を歩いている高齢者(老人)は羽村市内の人が多いのですが、市営無料駐車場まで自家用車や自転車等で来ている人もいます。市内巡回バスで来ている人も少数います。高齢者が歩く時間帯は日の出前の早朝から午後8時頃かと思えます。気温の高い7月～9月の期間は、午前10時頃から午後の歩行は避けています。</p> <p>そこで、いこいの里の空きスペースの活用について、私の案として、①羽村市だけではなく他外の高齢者を対象にする。②いこいの里から対岸の郷土博物館あたり(羽村草花丘陵)まで往復で歩きこうという高齢者を支援するために考えたスペースにする。</p> <p>有料サービスも含めて具体的に以下4点を提案します。①駐車場(経費がかかるのであれば無料)、②コインロッカー(夏は施設を午前7時頃には利用できるようにする)、③自動販売機では購入できない飲み物提供(桐樹液のメープルサイダー、ハーブティー、東京牛乳等、その他自然セラピー効果のある飲み物)④千葉大学環境健康フィールド科学センターが提唱する木材セラピーの香りを提供、④ノルディックウォーキング愛好組織等との連携やそのウォーキング愛好会が開催するイベント支援活動の拠点。</p> <p>※いこいの里から羽村市郷土博物館まで往復で9,000歩程度(歩数計数値)でしたので高齢者の歩数としては良い歩数だと思います。支援体制があればブランド力ある高齢者むき遊歩道になると考えます。</p>	メール	4月13日
23	<p>①双葉町地区住民の総意として、地域集会施設である双葉町会館が無くなることは断固反対です。また市からの譲渡という話もあるが、それによる新たな費用が生じることから、今までと同様羽村市の所有物として存続していただきたい。</p> <p>主な理由として、高齢福祉施設や障害福祉施設、及び健康福祉施設などの高齢者が頼りたい施設において、我々が住んでいる双葉町地区からは全てが遠距離であり、利用したくとも利用できていないのが現状で、言いかえれば半ば諦めている状況である。</p> <p>現在、唯一身近にある物として双葉町会館があり、長い間町内行事や高齢者のコミュニティの場として活用し親しんできており、唯一の心のよりどころとなっている。よって、今後も福祉、教育そしてコミュニティの場としてとても重要な場所となります。</p> <p>②たたき台ver1で反対(問題提起)した意見がver2で反映しているとは到底思えません。</p> <p>・以前にもお話ししましたが、Ver1での意見258件について反対意見が少ないと捉え、大半が賛成と位置づけようとしているとしか感じられません。</p> <p>・ver2においても懇談会をやるようですが、それも4月での3回のみで各回人数を100人程度に制限している。これでは行きたくとも行けない人への配慮に欠けており、奥に潜んでいる多くの反対意見や問題提起を拒もうとしているとしか思えません。</p> <p>③地域の人々に対し扱いを軽んじていませんか？</p> <p>「はむらん」の土休日運行休止を例に取れば、議会で通ったので決定した(昨年12月)とおっしゃるが、その前に一人で多くの地域の人々への意見照会があつてしかりじゃなかったですか？</p> <p>双葉町地区住民が一番遠い所に居るので困っているとともに呆れかえっていますよ。</p> <p>今回の公共施設再配置構想についてはそうならないよう、より多くの声を吸い上げていただきたい。つきましては、以前から申しているように、地域集会施設の統廃合について双葉町会館に向かいいただき、地域住民の生の声を聴いていただきたい。</p> <p>なお議題が地域集会施設に特定しますので、羽村市の方は市民部長、そして地域振興課に絞っていただいで結構です。時期はVer2の回答期限である5月15日(金)までにはお願いしたい。是非ともよろしく願いたします。</p>	メール	4月21日
24	<p>学校統合に関してですが、人数が減っている現状を考えたなら早急に統合するべきだと思います。少ない人数の良さはあるかもしれませんが、少ない人数だからこそその難しさもあると思います。小学生中学生のこの大切な時期に、沢山のひとと関わりを持つことはとても重要なことだと思います。準備期間としている3年間は子どもたちがどんな選択をするのか見守る時期でもいいのではないのでしょうか？</p> <p>統合に反対の人は今のまま在籍し、統合に前向きな人は統合先に在籍する、一気に統合となると不満な人もいますが、3年間の猶予があれば少しは不満も軽減できるのではないのでしょうか？それも難しいのであれば学区を越えて、越境することを認めてください。</p>	WEB	4月21日
25	<p>施設をへらすのは絶対ダメです。</p> <p>羽村市には福祉施設が少ない事はわかっていますか？</p> <p>その代替がこれらの施設です。</p> <p>それを減らすのであれば、新しい福祉施設を作らなければいけません。</p> <p>子どもが住みやすい羽村、子育てしやすい羽村はどこへ？！</p> <p>年寄りが住みやすい羽村はどこへ？！</p>	紙	4月21日
26	<p>羽村市に別自治体から移住してきて今後数十年間住むこと決めた身としては、今回の施策で公共施設については整理いただき、直近の軋轢を避けるために今後の羽村市民の首を絞める結果にはならないように現状だけではなく長い目での施策を実施いただきたい。また、何より子供や働き世代など若い世代が住みやすい街にしてほしい。声の大きい・数が多い案ではなく、長い目で何が公共としてすべきなのかという観点でご判断いただきたい。</p>	WEB	4月21日

回答No.	公共施設再配置構想(たたき台Ver.2)について、御意見やアイデア等を教えてください	回答方法	掲載日
27	この件に 初めて参加した 学校 学童等は 子どもが巣立ち同居していない 福祉施設 集会施設については利用率が少ない所は 統合してよい 〇市民の参加者が少ない〇関心がないのだろうか〇市も市民も 充分 理解し 進めて欲しい	WEB	4月21日
28	羽村市は正直言って住みづらい街です。理由は3つあります。 1. 弱者(子供、障害者、高齢者)に対して、やさしくありません。松林小学校は最後の1人が卒業するまで残してください。子供は環境になじむのに時間がかかるということ。そして子供の意見、先生の意見をしっかりと市役所職員の方は聞いていますか。 2. なぜ区画整理をするのですか。今は教育や福祉に対してお金を使ってください。それでない市はダメになってしまいます。ならば市の一部施設を民間業者にたくしてしまうところです。スポーツセンターなどは出来ると思います。 市役所の職員を減らして別の事に使ってもと思います。交通の便が悪いこともあります。JRと協力して電車は地下を走らせることも考えたらいいと思います。 今回のお話から障害者に対しても対応が良くないです。障害者施設を移転させることはちょっと違うと思います。 市の職員、教育委員の方はもっと市民としっかり話してほしいです。 区画整理をしても私は良くなるとは思いません。	紙	4月21日
29	市長部局=教育委員会ではないはず 4kmは通学可能って教育委員会が決定した意見とはびっくりです。5月頃から夏日になって来ている子供を4km歩かせて平気なのでしょうか 本当に教育的見地から見た意見なのでしょうか 市長部局の下受け業者ではないはず。 もうすこし考えてほしい。	紙	4月21日
30	小学校の統合について、実際に通っている子供の保護者の意見を聞き出す姿勢が見られないので、積極的に聞き出して頂きたいです。 今回の懇談会についても知らない保護者が多くいましたので、関心のある方は情報を自分から得ますが、そうではない方にも多く知ってもらえるように周知してほしいです。	紙	4月21日
31	市の意見・返答と市民の意見がいつまでも平行線な気がします。 転入・引越す家族が、ここは小学校まで2kmですと聞いて、住みやすい所だと思ってしまうのでしょうか。 YouTubeで、今多摩地区で住みたくない市のトップ10に羽村が入っていました。 他市が治安が悪いのが多かったですが、羽村だけが、この間教育環境が悪くなるからの理由が出てびっくりしました。羽村以外の人々の間でもそう思われているのは残念です。 もっと血のかよった具体的な面をしっかりと見てください。	紙	4月21日
32	・通学時の安全確保について具体案を明示して欲しい。 ・羽村二中の建物の強度の安心感をデーターで示してください。 ・羽村二中の校庭の広さが授業時と体育大会で充分ですか？ ・観光案内所の駅近くへの設置を検討して、にぎやかな町作りをして欲しい。(現状PR不足では？) ・三矢会館の使用率はこんなに低いとは思えません。単純に部屋数で割るのは？と思われます。 ・郷土博物館の平日利用率の低さと管理費用の流出の検討必要。	紙	4月21日
33	学校の数が減るのは仕方ない。 でも生徒1人当たりの教師の数を増やすなど明るい提案をして欲しい。	紙	4月21日
34	小学校の統合について反対です。まだまだ先でもいいのではないのでしょうか。 今年度、松林小に入学しましたが、新入生保護者会等でも統合について何の話もありませんでした。保護者が一番集まる場にも関わらず、なぜ市はこのような機会を利用しないのか。 そして、学校が統合すると、行動範囲が広がります。 学童がない4年生以降は、放課後学校の友人と遊びます。 今までやまがき公園くらいだったのが武蔵野学区のお友達も増え、福生市に近いところまで、あるいは福生市まで行動範囲が広がる心配があります。 もし、統合するにしても学童へ通える学年を4年生以降も通えるようにしてほしいです。	紙	4月21日
35	高齢者のみなさんは、ここに来るにも大変な思いをされたと思います。その意見をムダにしないでください。お年寄りと子供たちにやさしい羽村市に！	紙	5月1日
36	少子化と超高齢社会と同時に、人口減少と税収の減少が進んでいる。 持続可能な羽村市の財政運営のためにも、公共施設の総量抑制はいたしかたないものと思います。 小中学校の統廃合も、少子化に伴い、必然であり、賛成者も多いはず。今回のような懇談会の開催は、意見のある市民には効果的であるが、反対者が集まる傾向にある。市側の粘り強い対応を応援します。 公共施設の再編問題は、全国的に共通しており、市長が仰るとおり避けて通れない課題であり、個別の沢山の課題を乗り越えられますよう市民として支持したい。	紙	5月1日
37	意見として述べさせていただきます。 公共施設の廃止によって市民への福利厚生としての行政サービスを低下させて羽村市の価値を降下させるのでしょうか？ 代替のアイデアは予算を把握している廃止を決める側で出すものではないのでしょうか？	WEB	5月1日

回答No.	公共施設再配置構想(たたき台Ver.2)について、御意見やアイデア等を教えてください	回答方法	掲載日
38	<p>小作台図書室をよく利用しています。場所があることの意義を再考してください。行くところ、用事があるというのが人には大切で、これまで通いやすさから徒歩で利用している高齢者の方やその他の事情で本館まで行くことが難しい人が一定数いるのではないのでしょうか。</p> <p>図書館での本との出会いは、読みたい本だけを宅配サービスで代替できるものではありません。私はまだ50代ですが、これからも羽加美に住む予定です。20年、30年後、図書館にアクセスできなくなるかもしれないと思うと、とても寂しいです。</p> <p>教育相談室の相談機能を保健センターに集約することは、市の相談体制のデザインも変わるということでしょうか。課題が多岐にわたり、重層的な相談支援体制についての本市の実態に属しているのか。また、どんな指標をもとにデザインされたのか、教えてください。</p> <p>市営住宅は、住民の不安を煽ったり、スティグマにならないようなランドデザインの検討をお願いします。廉価な住まい確保は誰にとっても大切なセーフティネットだと思います。</p>	WEB	5月1日
39	<p>始めて参加しました</p> <p>①懇談会とは…テーマを決めて話し合い結論を出すこと。意見交換、率直に話し合いをする会合。市民の方が意見を出したり、質問をしたりすると、「意見を聞かせていただく場であり、質疑応答の場ではない」…ような言い方をしていたのが、とても気に入りまして。それでしたら、懇談会とは言わず、別のネーミングをつけたらよいのでは。話し、意見を聞く会とはどこにも書いてないですよね。これでは懇談会の意味がないと思いますし、話し合いを大切にしてください。</p> <p>②中学が3つ→2つになるのは、やむをえないとしても、小学が7つ→2つにしようとしている…意味がわかりませんが、本当にそんなことが(いつなるかわかりませんが)あるんですか。1つは武蔵野小が残り、他はどこが1つになれるんでしょうか。おかしい。反対するしかありません。</p>	FAX	5月1日
40	<p>資源の配分と維持が重要課題であることが話の中で妙に納得させられる雰囲気でした。わかったと賛成するには疑問が残ります。現状の建物を使って、利用率(利益率)を上げることでもう少しの時間もちこたえられないのか。</p>	紙	5月1日
41	<p>全ての市民が住みやすいように 高齢の方、若い方、小さい子さん、働いている方に住みやすい羽村に コミュニティセンターをなくさないでほしい コミュニティが大切な時代です。 図書館もコミュニティの場所です。 中央を充実でなく、点々と居場所を作ってほしいです。市民がサークルなど楽しく仲間と過ごす時間を 持てるように。良い場所です。 羽村は良い所なので居場所をなくさないで生かしてください。小さくなくても場所は作ってください。 昭島はサークル(市民)無料です!! 空き教室、空き学校を生かして コミュニティ大切に 町内会(調理室) JAなどと協決してスペースを使わせてもらったらどうでしょうか? はむらん土日も走ってほしい!! 観光のためにも! 金額を少し上げても回数も増やして</p>	紙	5月1日
42	<p>学校再編に向けてのお話が聴きたいため出席いたしました 通学路の事、よろしく願います 備品も相当古くなっています</p>	紙	5月1日
43	<p>・松林小は2030年度(R12年度)になっても、クラス数、児童数共ほぼ変わらない。松林小が武蔵野小に統合する理由がないのではないかと。 ・とすると、松林小学区の保護者に対して、武蔵野までの安全な通学方法を具体的に明示してほしい。 ・また、松林小の児童は住所によっては、富士見小への通学が近い児童もいると思われるので、通学先を選択する自由があってもよいのではないかと。 ・松林学区の地域の方たちや保育園・幼稚園の保護者、松林小の保護者に向けて、丁寧な説明をしてほしい。 ・武蔵野小も、2030年度(R12年度)では、児童数の減少は、どうしても統合を実施しなければならないほどではないと思える。もう少し時間をかけて考えても良いのではないかと。</p>	紙	5月1日
44	<p>双葉町や神明台の付近にゆとろぎや図書館がないので通いやすい施設を配置してくれると助かります</p>	WEB	5月12日
45	<p>公共施設再配置にあたり、森林環境贈与税を有効活用していただきたいです。 羽村市公式サイトに掲載されている森林環境贈与税の用途を見ると、令和4年度の活用以外は全て基金への積立となっています。 令和7年2月に羽村市公共建築物等における木材利用推進方針が示されています。より具体的な活用案を再配置構想の中で示すことで、市の取り組みとしてPRにも繋がると思います。 ”羽村市に”納税することの意味を感じさせて欲しいです。</p>	WEB	5月12日
46	<p>小作台図書室縮小計画に反対します。小作台小学校での説明会で、市の説明は、利用者が少ない、固定化されているので縮小すると言われました。蔵書の少なさや、開室時間が短いなどサービスが、レベル低いままでは利用者は増えません。もっとサービスレベルを高めれば利用者は増えると思います。逆に市の計画通りでは利用者は激減するでしょう。 企画部長は他の地区とのバランス上、小作だけにあることは良くない旨の説明をしましたが、他の地区にも分室が存在したのを市が廃止したからバランスが悪くなったのです。 小作の市の出張所も数年前廃止されました。 市の縮小の理由は説明されたようなものではなく、単純にお金をかけたくないという本音だと思います。</p>	紙	5月12日

回答No.	公共施設再配置構想(たたき台Ver.2)について、御意見やアイデア等を教えてください	回答方法	掲載日
47	松林小学校ではなく、武蔵野小学校を統合していただきたく、お願い申し上げます。理由は以下の通りです。1.武蔵野小学校のエリアはトラックの交通が多く、また道幅が狭いため、松林小学校の通学路に比べて危険です。2.近隣の駐車場が少なく、保護者の来校が非常に不便です。まつのこ学級は羽村市内全域からお子さんが集まるため、車での来校が必須となります。支援が必要な保護者も、通常級に比べて多くいます。3.松林小学校は公共施設に囲まれており、学習環境に恵まれています。特に夏のプールはすぐ隣のスイミングセンターへ通うことができますので、熱中症の危険を回避できます。武蔵野小学校からは歩いて20分ほどかかるので、低学年の子どもには特に脅威です。以上です。再度ご検討いただけますことを心よりお願い申し上げます。	WEB	5月12日
48	高齢者施設のいこいの里の利用について、お風呂を残すのであれば、利用料を徴収すべきではないでしょうか。維持管理、毎回の燃料費が高みます。本来の目的とはかけ離れ、生活の一部である入浴を一部の高齢者のために利用されているのに疑問を感じます。自宅の代わりに、こちらのお風呂を使っています。銭湯代わりなら、それなりの利用料を徴収すべきです。費用負担をしていただきたい。施設に各種の教室があるようですが、受講料があまりに安く、その値段が世間の相場と思われるので、疑問を感じます。	WEB	5月12日
49	高齢になり、遠くへ行くのが大変になり、だんだんと困る年齢になり、今は近くで毎週楽しく使わせていただいています。私達の高齢者の楽しみをわかってほしいです。市の方も大変なのはわかりますが、高齢の方も頭に入れてください。	紙	5月18日
50	私達の大事な場所をなくさないでほしいです	紙	5月18日
51	ぜひ残してほしいです 私達高齢者(一人暮らしの人)が増える中で、この会館でカレー作り、おしるこ作り、スポーツ等で年間含めるとかなり利用をさせていただいています。これ以上遠くになりますと出席する人も少なくなります。よろしく願いいたします。 私達の生きがいをなくさないで。	紙	5月18日
52	公共施設を維持するための財源が不足になったからといって会館統合だなんて地域住民は納得してません。唯一の娯楽施設地域の年寄り憩いの場所でもあり財産であり、もっと減らすことがあるのではないかと… 羽村市もだんだん人口が減ってきているので市議会議員を4人程減らしたら人件費が浮くのではないのでしょうか。 公共施設をなくすのは反対です。	紙	5月18日
53	早急な決定はやめてほしいと思います。 長年利用してきた双葉町会館です。財政難はわかりますが、まずは市が自らの身を切る政策、つまり職員削減(市役所を訪れても何人も人がいるのに窓口は1つで他の人が何をやっているのか分からない時あり)や、市議会議員の削減も必要ではないのか。市民だけに押しつけるのは納得できない	紙	5月18日
54	高齢化する市民の憩いの場所はやはり地域密着の会館です。気軽に足を向けられる今までの会館がなくなれば、今まで外出した人も別な場所まで行くことがなくなると思います。統合は絶対に反対です。	紙	5月18日
55	地域集会施設の統廃合について 地域集会施設は、町内会の地域コミュニティの活動拠点として大切な場所です 集会施設を集約することによって地域コミュニティの崩壊を招くのではないのでしょうか 高齢化が進む昨今、地域コミュニティ活動拠点の統合には反対です	紙	5月18日
56	地域集会施設は行事や地域コミュニティ、健康作りの場として利用されています。再配置構想により施設が遠くなると、高齢者の方は交通手段が乏しく利用することが出来ない方もいらっしゃる、活動の場所が無くなる。結果、健康の悪化、介護・医療費の増加に繋がらないか。	紙	5月18日
57	各会館は町内会各種行事や、町内会員の憩いの場所として利用されており。統合により会館が遠くなると、高齢者は利用しづらくなり、地域コミュニティの崩壊を招きます。集会施設の整理統合は反対します。	紙	5月18日
58	羽村市公共施設再配置構想では、建築物総量30%程度(平成28年度⇒令和27年度、30年間)の削減目標が掲げられております。地域集会施設の削減目標は40%強(23施設⇒10施設)と成ります。地域集会施設の削減ウエイトが大きくなっている理由は何ですか。 削減率30%を考えると集会施設は16を残すことで良いのではないですか、集会施設全体の面積も少なく、削減率を40%強と大きくする理由が理解できません。大規模施設をターゲットに定め、かかる経費を削減(廃止場所を少なくすれば、費用は安くなる)することが肝要と考えます。	紙	5月18日
59	公共施設の中で特にコミュニティ(人とのふれあい)の場は少ない。 そして、それを補っているのが地域集会施設である。 よって、地域集会施設は今回の公共施設再配置構想の対象から外すべきである。	紙	5月18日
60	我が双葉町会館は平成14年に建設され、築年24年であり、老朽化の対象ではあるものの23ある地域集会施設の中で一番新しい施設である。 よって、今回の統廃合における優先順位は一番最後であり、さらに言えば統廃合の対象からは外すべきである。	紙	5月18日
61	公共施設削減目標30%の中で 地域集会施設は23施設を10施設とするということで、57%の削減にしている。 その理由が23施設全ての床面積に対し、削減目標の30%が13施設分に当たるので10施設に削減するような回答であった。 長年親しんできたコミュニティの場を単なる床面積で図りにかけるような考え方は我々市民の感情を完全に無視した構想としか思えず、あまりにも短絡的としか思えない。 よって、地域集会施設の統廃合には断固反対する。	紙	5月18日

回答No.	公共施設再配置構想(たたき台Ver.2)について、御意見やアイデア等を教えてください	回答方法	掲載日
62	公共施設再配置構想について、計画の策定を令和8年9月にしているが、特に地域集会施設は各地域によって使い勝手や使う主旨が異なるとともに色々な事情を抱えていると思う。それら地域の人々と寄り添いながら十分に意見を聞いて、両方が納得したうえでの計画への反映をすべきではないか。あまりにも計画の策定令和8年9月までというのは時期が早すぎる。みんなが納得するまで何年かけても時間を費やすべきである。	紙	5月18日
63	財政困難という前に市の方の努力が見えてこない。市の内部全体がどれだけ費用抑制の努力をしているか。費用抑制について、もっと具体的に市民が納得するまで説明すべきで、費用について、こういうことをこれくらい行ってきたが、それでもこれくらい財源が足りないという説明がないかぎり市民は納得しないし賛同できない。財源(税金)の量を中心に市民に問うのではなく、市の中の全ての部署や外郭団体も含めて費用の抑制を最大限とどれだけ努力しているかを市民が納得するまで説明すべきで、公共施設再配置構想はその次のステップとしていただきたい。	紙	5月18日
64	我が双葉町会館は昨年度年間で4,922人使用しており、日数で言うと212日使用している。これほど使用頻度の高い会館を無くすということは社会通念上考えられない。よって、使用頻度という視点にも着目して検討していただきたい。本構想は単に量を減らそうとしか感じられないし、そういうものであってはならないと思う。	紙	5月18日
65	構想について、削減する対象を優先に決めるのではなく、ビジョンや方法の説明とそれに対し理解を求めることが先決である。それには現状の把握(実態、活用状況、活動内容)が重要で、一つ一つの施設について、「いつ、だれが、何を、どのように、何故」使用しているかを十分に把握する必要があり、それを怠ると間違った方向に行ってしまう市民からの反感のもととなります。そして現状を把握するには、実際に利用している市民一人ひとりの話を聞く必要があり、想談会や意見照会だけでは不十分です。特に地域集会施設においては、その会館に足を運んでいろんな人の生の声を聞いてみてください。今までにない課題や切なる思いが見えてくるはず。現状を把握するのに費やす時間は決して無駄にはなりません。計画の策定はそれからでも遅くはないのではないのでしょうか。	紙	5月18日
66	コミュニティの場を減らすということは、長期的に考えると子供・お老寄りの方が引きこもりとなり、健康の悪化を招き、今以上に財政悪化(介護・医療費増)にならないでしょうか？また、地域イベントが衰退し、町内会加入率の減少に繋がると考えます。	紙	5月18日
67	地域集会施設はコミュニティの場であるとともに、自主防災組織の拠点であり、避難場所も担っている。また福祉(民生や児童委員)の拠点でもあり、地域に根づくことによりきめ細かく目配りできる機能を担っている。市が目の行き届かない所もサポートしている地域集会施設を簡単に統廃合しますとは言わないでほしい。	紙	5月18日
68	久しぶりに羽村市の公式サイトを見ました。そのサイトから公共施設再配置構想に関する記事を見ようとしたところ、そこに行きつくまでに時間がかかり、以前に比べてメインの記事として扱ってないように感じたのは私だけでしょうか？何を言いたいかという、まだまだ市民の意見を集めている最中で、これからも意見交換を積極的に行っていきまると言っているわりには市民の目に届きづらい所に記事を持って行っているように思え、あたかも市民の興味を薄れさせるかのような動きに見えてとても不安を感じます。我々市民にとって一番重要なテーマであることから、もっとメインに目を届きやすい所に記事を掲載いただけるようよろしくお願いします。	紙	5月18日
69	地域集会施設を公共施設と言えるのか？公共施設とは公共的なサービスを提供する所であり、自主的に行う町内行事等のコミュニティの場であったり、自主的に行う防災や福祉の場であったりする所を本当の意味で公共施設と言えるのでしょうか？地域集会施設を公共施設再配置構想の対象からは外すべきだと思います。	紙	5月18日
70	西口土地区画整理事業の縮小の意見に対し、市の考え方のなかで『都市計画税のため都市計画事業のみに充当可能な目的税である』とありますが、そもそも市の財源が悪化しているため当該事業の検討が出たと思っています。上記の回答をみると、国・都補助金もあるので『無駄遣いしても良いんだ』と感じてしまいました。西口土地区画整理事業は費用対効果が出ているのでしょうか？行政が上記のような考え方を持っている限り、財政改革は見込めないのではと危惧しています。	紙	5月18日
71	去年、武蔵野小学校の体育館で行われた公共施設再配置構想の説明会で感じたことですが、参加人数が非常に少なかったことです。市として参加人数がカウントしていると思うので説明者側も感じていると思いますが…。個人的には説明会の場所・開催通知方法・規模が問題と思いました。当該事業の検討が半年延長されたと聞いています。本件は、市民全員に何らかの影響がでる事案であり、多くの市民が参加できるようにするために小規模(双葉町会館)で町内会の回覧で連絡周知し、説明内容を絞る(地域集会施設の統合)ことで、実のある説明会にあると考えています。是非、ご検討をお願いします。	紙	5月18日
72	地域集会施設の統合により、双葉町会館が無くなることは反対です。地域集会施設を維持するためには財源が必要であり、財源を確保する対策検討は必要ですが、市の考えが一番安易で掛かるものを減らすというネガティブな印象しかありません。財政を向上(収入増)させるための検討はできないのでしょうか？	紙	5月18日

回答No.	公共施設再配置構想(たたき台Ver.2)について、御意見やアイデア等を教えてください	回答方法	掲載日
73	地域集会施設の統合案を策定する上で人口・面積・アクセス距離、町内会などの地域の繋がりを考慮して10区域に分け、区域ごとに1か所の施設に統合することを検討しているというが、具体的に1か所の施設を決定するまでのマイルストーンを事前に公開願います。 また、決定する上での判断基準項目も事前に公開願います。	紙	5月18日
74	羽村市は現在、経費削減の一環としてさまざまな施策に取り組んでいると説明していますが、その実効性には大きな疑問があります。 特に、市が発注している公共工事において、委託先企業の見直しが本当に行われているのか、市民として強い不信感を抱かざるを得ません。 癒着とまでは言いませんが、より安価で確実に仕事を行える企業は他にも存在するはずです。また、会館修繕などの比較的小規模な工事であれば、地元には各分野に経験豊富な職人が多くおり、彼らを活用すれば費用を抑えることも可能です。もちろん無料とは言いません。必要な人件費や材料費は支払うべきですが、現状よりも効率的で市民負担の少ない方法は十分にあるはずです。 さらに、市役所内部の問題として、縦割り行政が根強く残っていると職員から聞いています。部署間の横の連携が弱いため、同じエリアで複数の部署が時期をずらして工事を行い、結果として工事費用が膨れ上がる構造になっているのが実態です。 なぜ部署間で情報共有を徹底し、工事を一体的に進める効率的な仕組みを作れないのか、大きな疑問です。 このような非効率のツケは、結局すべて市民にしわ寄せとして返ってきます。 本来、市長が先頭に立って行政改革を断行し、内部のムダを徹底的に削減することが、財政再建の第一歩であるはずです。 このままでは「第二の夕張」と言われる状況が、ますます現実味を帯びてまいります。 市民に負担を求める前に、市自身が変わるべきです。 その順番を誤ってはならない強く訴えます。	紙	5月18日
75	市民の憩いの場であり、地域のつながりを支える会館の統合は、特に高齢者にとって深刻な影響を及ぼします。移動手段に限られる方々にとって、会館の統合は交流の機会を奪い、地域の支え合いを弱める結果につながります。 それにもかかわらず、こうした市民への影響が大きい施策を真っ先に進めようとする姿勢は、市政が市民の暮らしを十分に見ていない証拠ではないでしょうか。	紙	5月18日
76	羽村市の財政を本気で立て直すのであれば、まず市役所内部の業務体制を抜本的に見直すことが不可欠です。現在のように、アウトソーシングできる業務を十分に外部委託せず、非効率な体制を温存したままでは、いくら市民に負担を求めても根本的な改善にはつながりません。 市が自らの業務を効率化し、外部委託によってコスト削減を図り、必要に応じて職員数の適正化を進めることこそ、財政回復への第一歩です。自分たちの痛みを避け、市民にだけ痛みを押し付けるような姿勢は、行政として筋が通りません	紙	5月18日
77	羽村市が財政悪化を理由に進めようとしている「町内会・自治会会館の統合構想」は、市民の生活実態を無視した施策であり、到底受け入れられるものではありません。一部では「第二の夕張」と揶揄されるほど、市の運営がうまく機能していないことの表れであり、その負担を市民に押し付ける形になっています。 羽村市全体では高齢化が進み、地域の会館は高齢者の交流・見守り・支え合いの拠点として欠かせない存在です。それを統合し、遠方の施設へ移動させるというのは、移動手段に限られる高齢者にとって現実的ではありません。むしろ、地域のつながりを失い、孤立を生む危険性すらあります。 財政の健全化は必要ですが、市民の生活基盤を壊してまで行う施策は本末転倒です。市がまず取り組むべきは、市民の声に耳を傾け、現場の実情を踏まえた、持続可能で納得感のある改革です。地域の交流拠点を守りながら、無駄の削減や行政の効率化を進めることこそ、真に市民に寄り添った施策といえます。 羽村市の未来を守るためにも、今こそ市民の生活に目を向けた、丁寧で誠実な行政運営が求められています。	紙	5月18日

回答No.	公共施設再配置構想(たたき台Ver.2)について、御意見やアイデア等を教えてください	回答方法	掲載日
78	<p>羽村市は町内会への加入促進を掲げながら、その一方で経費削減を理由に会館の統廃合を進めています。しかし、この二つの方針は明らかに矛盾しており、現場の市民生活をまったく理解していない施策と言わざるを得ません。</p> <p>会館を利用しているのは、ほとんどが地域の高齢者です。 「歩いて行けるから参加できる」 この当たり前の環境があるからこそ、地域のつながりが保たれ、町内会活動も成り立っています。ところが、統合によって会館が遠くなれば、移動が困難な高齢者は参加できなくなり、結果として地域の魅力は失われ、最悪の場合、町内会そのものから脱会する流れが加速することは容易に想像できます。</p> <p>さらに、統合後の会館には別の問題もあります。 現在の会館には階段しがなく、2階へ上がれない高齢者が多いのが現実です。 統合して利用が増えれば、1階スペースの“奪い合い”が起きることは目に見えています。 エレベーターの設置など、バリアフリー化の具体策が示されない限り、統廃合は高齢者にとって負担を増やすだけであり、到底賛成できるものではありません。</p> <p>机上の計算だけで進める施策では、市民の生活は守れません。 地域の実情を踏まえ、誰もが安心して利用できる環境を整えることこそ、行政の責務です。 羽村市が本当に町内会加入を促進したいのであれば、まずは地域の拠点である会館を守り、使いやすくすることが不可欠です。</p>	紙	5月18日
79	<p>2020年の調査では、羽村市は「東京都内で住みたい市」3位、「全国でも35位」という高い評価を受け、さらに安全面では「全国1位」という誇るべき結果が出ています。しかし一方で、東京都の市町村知名度ランキングでは、毎年のように最下位争いしていると言われていました。地方で「羽村市」と伝えても場所が伝わらず、「福生や青梅なら分かるが、羽村は読めない・知らない」と言われるほど、知名度が低いのが現状です。</p> <p>この状況では、人の流入が増えないのは当然です。せっかく住みやすさや安全性で高い評価を得ているにもかかわらず、それが市外に十分伝わっていない。ここを改善しない限り、羽村市の未来に明るい展望を描くことは難しいと感じます。</p> <p>もちろん、財政状況を踏まえて「縮小」や「効率化」を進める必要性は理解できます。しかし、今の羽村市に本当に必要なのは、魅力を外に発信し、人を呼び込むための戦略です。ただ縮小するだけでは、市の活力は失われ、人口減少に拍車がかかるだけです。</p> <p>羽村市が持つ強みをもっと前面に出し、知名度を高め、選ばれるまちとしての価値を築いていくことこそ、これからの羽村市に求められる取り組みだと強く思います。</p>	紙	5月18日
80	<p>今回示されている統合案については、現状の説明では賛同することはできません。その最大の理由は、施策の順番が根本的に逆であるという点にあります。</p> <p>本来であれば、まず最初に取り組むべきは、税収を増やすための具体的な施策です。第一次、第二次、第三次と段階を明確にし、どのような取り組みを行い、どれほどの税収増加が見込めるのか——その計画と効果を示すことが先決です。</p> <p>それでもなお税収増加が見込めない、あるいは十分でないという状況になって初めて、次の手段として支出を抑える施策を第一次、第二次、第三次と検討すべきです。</p> <p>しかし現状では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税収増加策の提示が不十分 ・その効果の検証も示されていない ・代替案の比較も行われていない <p>こうした状態のまま、いきなり支出削減を前提とした統合案だけが表に出されているため、住民として判断材料が欠けていると言わざるを得ません。</p> <p>税収増加施策とその効果を明確に示さない限り、今回の統合案には賛同できない——これが私の立場です。</p>	紙	5月18日

回答No.	公共施設再配置構想(たたき台Ver.2)について、御意見やアイデア等を教えてください	回答方法	掲載日
81	<p>数年前、東京近郊の市で“転入率が何年も1位”という市がありました。理由は明確で、子育て環境の整備に早くから本気で取り組み、若い世代が安心して住める街づくりを進めていたからです。</p> <p>その結果、自然と若い家庭が集まり、人口も税収も安定していきました。現在は他の市町村も子育て施策を改善し、その市の転入率1位は奪われましたが、少なくとも「若い世代に選ばれる街づくり」を早期に実行したという事実は揺るぎません。</p> <p>では羽村市はどうだったのか。</p> <p>なぜ同じ時期に、同じような取り組みを進められなかったのか。</p> <p>ここに大きな疑問があります。</p> <p>本来であれば、企業誘致や子育て支援の強化など、税収を増やす施策をもっと早くから講じるべきでした。そして、その取り組みの成果を市民に丁寧に公表し、「それでもなお税収が増えないため、支出を抑える必要がある」と説明していれば、市民も納得できたはずですよ。</p> <p>ところが現状は、十分な増収策も示されないまま、いきなり施設統合や市民負担の増加だけが先に語られている。</p> <p>これでは、市民が納得できるはずがありません。</p> <p>まず税収を増やす努力を最大限行い、その結果を市民に明確に示すこと。それを行わずに“削減ありき”の議論を進めるのは順序が逆であり、市としての責任を果たしていない。</p> <p>これが私の率直な答えです。</p>	紙	5月18日
82	<p>東京都内では、若い世代が都内に持ち家を持つことをあきらめ、埼玉県などの近隣県に住宅を建てて通勤するケースが急増しています。いわゆる“億ション化”によって、都内での住宅取得が現実的ではなくなっているためです。しかし、ここで疑問に感じるのは、なぜ羽村市がその選択肢としてほとんど話題に上がらないのかという点です。羽村は青梅線・中央線を利用すれば都心まで約1時間圏内であり、通勤可能エリアとして十分に魅力があります。それにもかかわらず、若い世代の「住みたい街」「家を建てたい街」として羽村の名前が出ないのは、非常に不自然です。</p> <p>これは、市長をはじめ市としての取り組みが不足している、あるいはほとんど行われていないのではないかと感じざるを得ません。本来であれば、羽村の</p> <p>交通利便性 住宅取得のしやすさ 子育て環境 自然の豊かさ 生活コストの低さ</p> <p>こうした“羽村の強み”を前面に押し出し、若い世代に「羽村に住みたい」と思ってもらう施策を先に講じるべきです。</p> <p>住みたいと思われる街づくりの施策を示さずに、統合や削減といった話だけが先に出てくる現状には賛同できません。まずは羽村を“選ばれる街”にするための取り組みを明確に示すことが、市として最優先であるべきです。</p>	紙	5月18日
83	<p>羽村市では、若い世代が働ける企業が十分に存在せず、市外へ流出してしまう状況が続いています。若者が地域に定着できないままでは、結果として市内の高齢化が加速し、人口構造のバランスが崩れています。</p> <p>高齢化が進めば、税収は確実に減少し、一方で社会保障関連の支出は増加します。つまり、「若者流出→高齢化進行→税収減少→社会保障費増加→財政悪化」という悪循環が、今まさに現実のものとなりつつあります。</p> <p>この流れを断ち切らなければ、どれほど公共施設の統廃合を進めても、根本的な財政改善にはつながりません。</p> <p>施設を減らすだけでは、人口減少と税収減のスピードに追いつかないからです。</p> <p>だからこそ、羽村市は倉庫や物流拠点の誘致だけでなく、若い世代が「働きたい」「住み続けたい」と思える企業を積極的に誘致する政策へ舵を切る必要があります。</p> <p>地元で働ける環境が整えば、若者は戻り、子育ても世代も定着し、地域の活力は回復します。結果として税収も安定し、将来の財政基盤を強化することができます。</p> <p>今求められているのは、人口構造の改善につながる企業誘致と雇用創出を中心に据えた、長期的な視点の政策転換です。これを実行しなければ、羽村市の持続可能性はますます損なわれてしまいます。</p>	紙	5月18日
84	<p>双葉町会館が無くなり三矢会館に集約されると、双葉富士見町内会で主催する各行事は、三矢会館の敷地内で行うと動物公園通りを超えるのがご年配者にとってはとても遠くなる。双葉町公園で行うと行事に使う器材等の運搬も更に遠くなり、大変に不便で行事運営が消極的になり得ることが推測され非常に危機感を感じている。町内の行事もやりにくくなり非常に困る。</p> <p>また三矢会館での行事は三町内会が絡むことから、日程調整・各町内会の備品置き場等がかなり込み合い、敷地内のスペースが狭まる。現状の会館を是非とも残していただきたい。</p> <p>会館が遠くなることで、遠のく人がかなり多くなり会員数の低下にも繋がるかと危惧する。</p>	紙	5月18日

回答No.	公共施設再配置構想(たたき台Ver.2)について、御意見やアイデア等を教えてください	回答方法	掲載日
85	会館が三矢会館に代わると、動物公園通りを越えて行く必要がありそれだけでも遠く感じる。年々を取って来ているが、今までの会館なら近く直ぐに行けたのに、今度はとても遠くなると思うと足が向かなくなり、行事参加も減ると思う。やっぱり近くにあることで首も気軽に接する事が出来てよいと思う。	紙	5月18日
86	会館が三矢会館に集約されるのは反対です。大きい道路を隔てて遠くなり、気軽に行くのにおっくうになるから。行事がかち合ったりしてやりにくくなる。	紙	5月18日
87	双葉町会館は町内会の象徴であり、今日まで気軽に足を選べるところで、会館に行く際も道路が広くなく車をそれ程気にしなく気軽に行けるので安心感がある。この会館は広場があり、子供たちが学校帰り・日曜祭日等に遊び場となっていて遊具もあり、小児も親子で遊べる場所で、交通の安全を考えれば三矢会館の場所と比較し、安全性がとても高く、是非双葉町会館を残してほしい。	紙	5月18日
88	他の町内会もそうでしょうが、かなりの高齢化となっている中、双葉町会館が無くなるのは高齢化の方々が大変に困るのは目に見えています。三矢会館では遠く感じて行かなくなる人が増えて、皆さんの町内会が主催する行事の参加が少なくなり、関心も低くなり脱会者も増えてくる危機感を感じてなりません。双葉会館の存続を切に願います。	紙	5月18日
89	会館含めて各公共施設の集約に対し、少子化・市の財政悪化と集約せざるを得ない苦しい状況とを察するところはあるが、集約することが先行して市の財政立て直しに向けた議論がなされているのか。会館は大切な地元の集合場所で、コミュニティの中心となっている。会館集約は断固反対である。	紙	5月18日
90	公共施設の縮小も大事だが、市民一人ひとりに関わる事なのでっと優先度を上げ、財政負担が大きくても他の事業を削減しても会館を残して欲しい。	紙	5月18日
91	公共施設を減らす事で、財政の立て直しを考えも分かるが、市の大事業を見ると西口開発は何年も掛けて特化した大きなプロジェクトが停滞している。現時点で会館集約は喫緊の課題であり、全市民の関心事と思う。これから超高齢社会が必至となる。公共施設維持に優先度を置いてほしい。	紙	5月18日
92	公共施設を減らす前に、市の財政のあり方をもっと検討して少しでも市民側に立ち、必死で市民のコミュニティの場を増やす努力をしてほしい。市民があつての市政と思う。あらゆる努力をして市民が納得する答えを期待する。	紙	5月18日
93	公共施設を減らして市の負担軽減に繋げる事は大事とは思いますが、他の町内からも猛烈な反発の声が上がっているのは周知の通りと思う。意見書も人口の割合からすると数的には少ないが、年配者含め意見したくても思うように意見の提出が出来ない方がいることを忘れてはいけません。多くの年配者は会館が遠くなることに反対です。これは町内会の衰退につながる大事な問題です。どうか市民の声を大切に上げてください。	紙	5月18日
94	公共施設を減らして市の負担軽減につながる事は大事だと思うが、他の町内会からも猛烈に反発の声が上がっているのは周知の通りと思う。意見書も人口の割合からすると数的には少ないが、年配者含め意見したくても思う様に意見書の提出が書けない人が沢山いることを忘れてはいけません。多くの年配者は会館が遠くなる事に反対です。これは町内会の衰退につながる大事な問題です。どうか市民の声を大切に上げてください。	紙	5月18日
95	羽村市双葉町地区は高齢化が進行中、地理的には羽村市南東部で羽村中心部から離れております、公共交通機関につきましても、はむらんの土日運行中止と成り、免許証を返納した高齢者は移動の手段がほぼ無い状態にあります、よって羽村市双葉町在住者の多くは双葉町会館を活用し様々なイベントを企画コミュニティーの場として利用しております。市では三矢会館に統合する考えで有るようですが、高齢者にとりましては、交通量の多い、特に大型トラックが多く走行する動物公園通りの交差点を横断する必要があります、場所的にはさほど距離はありませんが、横断歩道を使う事に対する安全面の対策は考えていないのでしょうか、又道路には大型車両通行禁止の標識が有りますが大型車両が多数走行しております、大型車両通行禁止の標識の意味はないのでしょうか。このような環境の場所で高齢者に道路を横断させることは反対です	紙	5月18日
96	地域集会施設を統合して1つの会館を新たに別の町内会と一緒に使用することになった場合。行事が重なり利用できないことが発生する可能性がある 地域集会施設は、町内会員が優先的に利用できる施設と考える、予約システムによる会館の使用は町内会での予約が難しく成る事にならないか	紙	5月18日
97	羽村市双葉町の住所で羽村市の施設が皆無と成るのは問題である 市の端の場所だからか、いわゆる地域格差と言う事でしょうか	紙	5月18日
98	双葉町地区住民の意見、 双葉町会館が無くなることは断固反対。 譲渡の話もあるが、町内会での費用負担は難しい 現状通り羽村市の所有物として存続していただきたい。	紙	5月18日
99	羽村市では定住に向けた促進に向けた取り組み活動を実施しております、市では平成29年にシティブロモーション基本方針を策定し、転出抑制と転入促進を図ってきておりますが、公共施設再配置構想では羽村市の人口が令和27年には2割減を想定されております。人口推定を基本に再配置計画を策定しておりますが、平成29年より進めて来たシティブロモーション基本方針は『シティブロモーション2023』で金賞を取ったにも関わらず、人口減の見込みでは計画は失敗したとの判断なんですか	紙	5月18日
100	地域集会施設削減には反対 維持費用、補修費用が掛かるとの事で削減計画が有るが ネーミングなど近隣の企業から協力を得る考えは無いか	紙	5月18日

回答No.	公共施設再配置構想(たたき台Ver.2)について、御意見やアイデア等を教えてください	回答方法	掲載日
101	双葉町会館は現状での存続を希望します 1) 立地的にはあおぞら公園も併設されており、子どもたちの遊び場になっている 2) 公園併設により、子どもたち、高齢者たちの交流がある 3) 三矢会館に統合された場合、動物公園通りを渡るのが危険を伴う(特に高齢者) 4) 三矢会館、3町内会で使うことは難しい(料理場所が2カ所しかない) 5) 三矢会館 1976年で50年経過、鉄筋コンクリート住宅の一般寿命が過ぎている 以上の理由より、現状通りの対応を望みます	紙	5月18日
102	双葉町会館、現状通りの形で存続を望みます	紙	5月18日
103	地域集会施設の中で一番新しい双葉町会館が削減対象になっている事が理解できません、	紙	5月18日
104	双葉町会館の存続を望みます。	紙	5月18日
105	地域集会施設の統廃合は反対します。	紙	5月18日
106	公共施設再配置構想 会館の削減には反対。 高齢福祉施設、障害福祉施設、健康福祉施設など高齢者の必要な施設に付いては双葉町から遠距離、高齢者は施設の利用が出来ない状態、現在は双葉町会館で高齢者のコミュニティの場として活用している 双葉町会館の利用頻度も高い中で削減には疑問が残る	紙	5月18日
107	公共施設再配置構想 反対意見 身近にある会館の削減は反対 町内会、会員の利用は頻繁にある、町内会員のメリットとして会館の無償利用を前面に打ち出し会員数の増加につなげるような案は無いのでしょうか 既存施設(老朽化しているもの以外)を有効に使うことが必要な時代です。	紙	5月18日
108	会館の削減は反対 高齢化が進む羽村市に於いて、身近な会館が無くなる事は問題がある 市指定の会館を使い、他会館は必要であれば譲渡との事だが 電気、水道、ガス代、会館維持管理などは町内会での対応はコスト的に難し(予算が無い) 羽村市の予算が無く会館を削減する案は市民サービスを軽んじているのではないか。	紙	5月18日
109	双葉町会館が無くなるのは反対です。 市も市内の各企業を取り込んでふるさと納税のようなことをして財政が少しでも良くなるようにしたらどうか。	紙	5月18日
110	70代、80代になって遠出が難しくなってきた、近くでの集まりが楽しみです。人と接する、集まって働く場所が大事です。会館を無くさないでください。お願いします。	紙	5月18日
111	しわ寄せが市民に及ぶのはおかしいと思う。絶対反対です。	紙	5月18日
112	市民の声が届かない市政はいらないと思う。選挙の時だけ良いことを言いながら実際当選したら何もしてくれないのが市長はじめ羽村市議なのでしょうか。最低です。 もっと長い期間をかけて、よく地域住民の話に耳を傾けてほしいです。 私たちの税金がムダに使われないこと、又、市民のために上手に使われることを切に願います。	紙	5月18日
113	会館が無くなると憩いの場所が無くなるので残してほしいです。	紙	5月18日
114	会館が統合されるのは絶対反対です。双葉町会館はまだ新しいと思います。目の前には公園もあり少なくなったとはいえ子どもたちや幼児連れのお母さんもよく遊びに来ています。 市の方も机上でばかり話していないで実際に何日かかけて現場を見に来ることが大事です。	紙	5月18日
115	高齢者が家を出て集う場所が無いと家にこもり、体調にも良くないので会館を無くさないでほしいです。1日に3人と話をしないといけないと言います。特に男性は外に出てきてほしいと思います。 議員を1人減らしただけで一つの会館の経費が出ると言います。	紙	5月18日
116	双葉町会館はみんなの憩いの場で、ふれあいでは体操とかいろいろな事をやっています。 シニアでは特に遠くには行かれませんが双葉富士見町内会では絶対になくってはならない場所です。	紙	5月18日
117	双葉町会館は高齢者の場所としてなくてはならない場所なので残してください。	紙	5月18日
118	双葉町会館が無くなってしまったら、年取っていくばかりなので楽しみが無くなってしまふので行けなくなると困ります。やめて下さい。	紙	5月18日
119	市はもっと積極的に集客できるような複合施設の建設を考えたらどうか。 羽村西口の開発にムダな金をかけるのであれば他の使い方がいと思う。 西口の開発は、市長や市議らとのしがらみがあってムリにやっているとしか考えられない。何の得も無いと思うが。	紙	5月18日
120	双葉町会館は絶対残して下さい。ここが無くなると憩いの場が無くなり体調不良になります。皆さんと笑いの場を無くさないで下さい。 皆さん80才過ぎて集まる場所です。ボケないために無くさないでください。	紙	5月18日
121	会館が無くならないように願っております。 高齢者のよりどころが無くなると寂しいです。	紙	5月18日
122	双葉町会館無くすのは反対	紙	5月18日
123	地域の集いの場である会館を無くさないでほしい。三矢会館は遠く行きにくいので、是非そのままにしたい。いつも広場を使っています。 双葉町会館の利用者より!	紙	5月18日
124	集会場が家の近くから無くなることは非常にさびしいです。今後何を目的にしていかが判りません。近くに行くところが無くなりさびしいです。	紙	5月18日
125	集会施設の廃止には反対です。高齢者の憩いの場所として使用しており、ますます高齢化が進むと思われる、会館が無くなってしまうと、どこに拠り所を見つけていいのかわからず活動が出来ない。	紙	5月18日
126	私共は月に2回双葉町会館を利用して頂いております。皆さん70代から80代の方達です。 家にこもるよりも外に出て皆さんと楽しく会話をしたり手芸をしたりしています。 認知症にならないように努力しています。足腰も弱くなってきているので、このままこの会館を残しておいて欲しいと思っております。	紙	5月18日

回答No.	公共施設再配置構想(たたき台Ver.2)について、御意見やアイデア等を教えてください	回答方法	掲載日
127	社協の呼びかけで立ち上げた「富士見ふれあいの会」は小地域ネットワーク資金で毎週月曜日、水曜に『会館開放日』の看板を立て、使用しております。開始は平成19年からになりますので20年近くになります。(会館開放日以前に年4回の事業を平成11年から8年間行っていました。) 認知症にならない一番は人との会話と聞いております。週に1回か2回集まれる所があることは介護予防になり市の負担の介護保険料の削減に繋がるのではないのでしょうか。双葉町会館が使用出来なくなり、他の会館になれば3町内会では週2回の使用は危ぶまれますので、双葉町会館は絶対に必要な会館です。(火曜日も週2回使用しています。) 双葉町会館は2002年建築で耐久年数もあり使用率も高いことも好条件です。◎市議会議員の定数が18名になっていますが、その人数が多いか少ないかは分かりませんが、国会議員の中で「身を切る改革」を話す方がいます。羽村市議会の中でも検討をお願いします。	紙	5月18日
128	公共施設(自治会館)等をなくしてしまうと、地域の人の集まる場所はなくさないでください。これから年をとって、歩くのが大変になってくると遠くまで出れなくなると思います。よろしく願います。	紙	5月18日
129	だんだん年をとって、外に出かけるのも大変です。ご近所にこのような集会場がなくなると家にこもることが多くなります。行くところがなくなります。皆さんと会って元気に過ごす為にも、ぜひこの場所に会館を置いておくようお願いいたします。	紙	5月18日
130	双葉町会館の利用者はほとんどの人が後期高齢者で一人暮らしの方です。会館では健康体操、手づくり手芸、毎週集まって顔合わせするのは楽しみにして居ます。体操が主ですが、映画(ビデオ)を見たり手作り品を分け合ったり、笑顔がいっぱいです。15名~20名ぐらいです。是非、会館を残して頂けるようお願いいたします。	紙	5月18日
131	双葉町会館を利用している者です。施設配置替えについて、双葉町会館は、ぜひ残してほしいと思っています。町内会の年間行事を遂行するには、なくてはならない場所です。集まる所が無くなれば、市や町内会の行事もできなくなります。三矢会館を他の町内会と共用するという話もあるそうですが、車の多い道路を行事に必要な備品を運ぶことは大変なことです。いろいろな不都合を考えると、町内会が成り立たなくなるのではと心配です。今まで通り双葉町会館をぜひ残して頂きたいと願います。	紙	5月18日
132	町内会館(双葉町会館)を残してほしい。シルバー世代になり歩いて行かれる会館は必要です。行く場所がある事が大事だと思います。欠席が続くと、心配で連絡したりできず、1日誰とも話さないことも防げます。子どもに小学校があるように、高齢者が通える場所を作ってあげたいと思います。	紙	5月18日
133	健康体操などで毎週何回か集い顔を合わせ元気をもらっています。健康に気をつけることが経費削減につながると思います。是非、双葉町会館を残して頂きたいです。高齢になった今、近さが増々必要です。	紙	5月18日
134	公共施設の減少については、予算の関係として人口の減、高齢者の増と難しい課題が多いと思いますが、公共施設を減らすことは各町内会の行事が重なり、又高齢者には施設が遠くなり行事への参加が少なくなり家への閉じこもりが出る可能性が高くなる。横の繋がりが減少することによる孤独死又ストレスで病院通い、体力が弱ったりと考えられる。祝日、土、日曜日のはむらんバスも運行がなくなり、高齢者の行き場が無くなってしまいます。せめて交通の便が悪い地区は考慮して是非残してほしいです。	紙	5月18日
135	月、水は毎週使っています。なので無くなると困ります。	紙	5月18日
136	①フレアイ体操が出来なくなるので、現況維持でお願いしたい。 ②三矢会館に決まると歩行距離の増大と、道路横断の際の信号が危険。	紙	5月18日
137	今まで働いて税金を納めて、これから楽しい時間を近所の人たちと過ごすことが出来たのに残念です。反対します。年寄りの私たちは近くの会館で人と逢うことしか出来ないのです。それがただ一つの楽しみなんです。年寄から楽しみを奪わないでください。子供たちが少なくなっているのも分かりますが、子供たちも一緒に遊んだりすることも考えて、残す方向を考えて下さい。会館の利用が出来なくなることは、私たちの楽しみを奪うことです。反対です。週2回利用している者として。	紙	5月18日
138	私たちは、ゆとりから遠いし、年を重ねていて、他の会館まではとても行く気になれません。せめても双葉町会館に来ることを楽しみにしています。ここに来ると仲間ともゲームをしたり体操したり、今とても楽しみにしています。ここに来ることが出来なくなると家にこもってしまい、話し相手もなくボケてしまいます。この会館が絶対に必要ですので、利用出来なくなると絶対に反対します。	紙	5月18日
139	反対です。双葉町会館がなくなり、三矢会館に統合されると聞きました。再配置でまとめていくことは、地区のまとまりが薄くなると思います。	紙	5月18日
140	82才の私が一番楽しみにしているのが双葉町会館で体操をしたり、友だちとおしゃべりしたり、時々ゲームをしたり、歌を楽しんだり、今一番の楽しみです。近くの会館に行くのに大きな道路を渡るのは恐ろしいです。信号などは一回では渡り切れません。とても怖くて他の会館に行く気にはなりませんので、なんとしても反対です。話し相手がなくなったら家にこもって一人でいたらボケてしまいます。痴呆症になってしまうのが怖いから私は近くの会館に行くのが楽しみです。ですから今迄のように使えるように願います。絶対に反対です。	紙	5月18日

回答No.	公共施設再配置構想(たたき台Ver.2)について、御意見やアイデア等を教えてください	回答方法	掲載日
141	再配置構想の中では、建物の老朽化や財政負担が理由としてあげられ、それが必要な論点あることは私も理解しております。 しかし、公共施設は、地域と歴史と人の思いが積み重なった場所であり、数字には表せない価値があります。どうか、羽村町→羽村市の変容の中でこの地で生きてきた人々の時間と記憶を未来のまちづくりの中に残して行ってください。 また、公共施設の利用者の中には、一定数の高齢者がいます。高齢者にとって距離は壁。移動は負担。コミュニケーションの場がなくなることは、心の支えを失うこととなります。高齢者の老いの防止には、社会参加、運動、学習の継続が認知症リスクを30~40%下げるとの研究結果もあります。公共施設は、その3つを同時に満たす場です。この地で生きてきた人々の健康寿命を延ばす投資として再配置構想をアセスメントしてください。	紙	5月18日
142	双葉町内会の者で、会館を利用させて貰っています。 毎月曜日体操、隔週火曜日パッチワーク、毎水曜日のふれあいに参加しています。 独り暮らしの高齢者なので、身体を適度に動かしたり、人と人の関わりはとても大切なことなので、認知予防の為になっています。加齢と共に体力減退や健康が損なわれないように予防しながら、このペースを守りながら快適な日常生活を送りたいと願っています。 これから益々高齢化が進んでいく中で、必要性を感じている心の拠り所を消さないように提案ですが、利用者から費用を負担して補いながら活動を進めていく方法など考えていただけるのでしょうか。	紙	5月18日
143	会館の統合反対します。 これから年をとり信号を渡り、今より歩いて行くようなら、みんなだんだん行けなくなってしまいます。	紙	5月18日
144	これから増々高齢化が進み、近くで行きやすいところがある事が私達の健康に直結すると思いき楽しく参加させて頂いています。 双葉町会館は私達の憩いの場所でもあります。	紙	5月18日
145	双葉町には「いこいの里」「ゆとろぎ」のようなボランティア講座の教室がありません。講座に入りたくても「いこいの里」までは遠くて通えない、と言うような声を多数聞かれます。実際に行ってみても「いこいの里」の講座なんかは、近隣住民がほとんどです。同じ羽村市民として不公平さを感じざるを得ません。 そこで一案ですが、「ゆとろぎ」みたいに会館の使用料をとっていろいろな講座などに貸し出してみたいかかでしょうか？ 市内にある会館の事情を一律に考えるのではなく、その地域が抱える問題を考慮して検討してほしいものです。 市の講座を考えても、市内のボランティアの先生方はほとんど高齢です。受講者の中には福生、瑞穂などから通われている方もいますので、先生方も市内の人ばかりではなく、もっと多方面の方をお願いできるような制度なんかも考えてみてはいかがでしょうか？ 羽村市の未来の文化の発展のために！	紙	5月18日
146	双葉町に住んで40年足らずになります。今迄は自治会の班長が回ってきた時にお手伝いで会館に行く位でしたが、70歳を過ぎ行動範囲が限られてきた頃、ふれあいの方から誘って頂きました。何回か参加させて頂く中で、集まって明るく楽しい時間を過ごす皆さんがお元氣なのに感心致しました。 自分たちの地区に有る会館に集い、馴染みの方々と楽しく過ごす事は、健康寿命を延ばす目標の私には必要だと感じています。皆さんも年齢を重ねる中で、道路を超えて遠くなると回数も減ったり、人数も減ったりするのではないかと懸念されます。	紙	5月18日
147	統合反対です。 下水道が以前より通行車両(大型が多くみられる)が多く、往來のため、信号無視車両も時々見られ、人身事故が多くなるのではと思われます。また、道路を横断する人が多くなるのでは？ 今は、自治会加入が減少している中、もっと減少するのでは？わざわざ通行車両の多い道路を渡ってまで行く事ない！と思われる人が多くなるのでは？ 「自治会加入しませんか」と言うチラシ配布、市役所に置かれているのを見ます。	紙	5月18日
148	定年後、会館での集まりなど楽しんでます。 まだまだ使える会館、まだまだ使用したいです。 住みやすい町、羽村。高齢者にやさしい羽村。人生100年時代。会館をなくさないでほしいです。	紙	5月18日
149	少子化で外で遊ぶ子供がいない中、会館前の広場にはいつもたくさん遊んでいます。 なじんだ会館がなくなるという事に疑問を呈します。 大人、高齢者が会館内、外は子供達。良い風景ではないですか、、、、	紙	5月18日
150	稼働率が多いと思うのでコミュニティーの場として残してほしい。	紙	5月18日
151	会館がなくなると近所のコミュニケーションする場所がないので、今迄通り使用したいです。 私達が外出する機会がなくなってしまうのでぜひお願い致します。	紙	5月18日
152	80代になって遠くへは行けない。近くの会館で皆で話したり、体操したりできる場所は大切です。 会館がなくなったら行く場所がなく、家でひきこもることになると認知症になる恐れもあるので会館はなくならぬようにお願いします。	紙	5月18日
153	春の子供みこし、廻るコースも変わる。(子供の意見も聞く) 夏まつり、公園までの道具大変になる。	紙	5月18日

回答No.	公共施設再配置構想(たたき台Ver.2)について、御意見やアイデア等を教えてください	回答方法	掲載日
154	<p>私共も羽村の双葉町に通算50年余り住まわせて頂いております。その間、家が狭くなり、移転も考えたことがありますが、第一に子供2人が羽村から他はダメという意見でした。それを尊重して現在地に安住しています。50年住んでおまして、この場所が住みにくい思ったことは一度もありません。会館一つをとってても最初の会館は現在の会館から見ればお粗末な建物でした。家を買って入居して、その当初町会も班は8班目だったのですが、その班長を仰せつかって相談事が2・3点あったと思いますが、その決め事を我が家の一室を提供してやった覚えがあります。会館なんてという言葉自体がどこにあるのという感じの頃です。</p> <p>町内の行事にも慣れ始め、会館もありがたかり、現在の立派な会館には想像もつかないものでした。双葉富士見会館の新し所で色々な行事をやらせて頂いて、向こう三軒両隣ではありませんが、仲良く言葉をかけ合って、中身も色々住民の知恵で生活環境も一変して来ております。</p> <p>私自身、町会の役、市役所のボランティア、この50年が私にとって最大の宝物と思って、今は元気で90を超え健康な余生を送らせて頂いております。</p> <p>町会はもとより羽村市に運営に関わることと推察します。</p>	紙	5月18日
155	<p>1 スポーツセンターの日影規制の是正計画の検討・策定が終了し、工事となった場合、隣接する農産物直売所の売り上げが一時的に下がるなど、工事に関連した影響が予測されます。事前調整をお願いいたします。</p> <p>2 スポーツ関連の統合施設の完成後は、多くの利用者が見込まれ、特に大会等開催の折は込み合うことが想像できます。車での来館者も多いと思われるので農産物直売所とスポーツセンターと共同で使用している駐車場の利用について事前調整をお願いいたします。</p> <p>3 日影規制の是正計画の検討・策定が完了する2030年には、農産物直売所は築30年となります。建物は定期的なメンテナンスが必要となりますが、当施設についてもスポーツセンターの竣工と合わせて一体として修繕を行いリニューアル出来ないかご検討ください。</p>	紙	5月18日
156	<p>いいと思う</p>	WEB	5月18日
157	<p>統合後の松林小学校の利用案。 テレビやYouTubeなどのロケ撮影、レンタルスペースとして開放してはいかがでしょうか。周りに民家が少なく、駐車場も動物公園と共通利用にできれば、撮影しやすい環境となるのではないのでしょうか。</p> <p>日によって、羽村市動物公園と一緒に撮影場所として利用できれば、より独自性があり、注目されるかもしれません。</p> <p>撮影場所として利用されることで、羽村市の知名度の向上と、松林小学校の記録を未来へ残すことにもつながると思います。</p> <p>昭島市でも廃校のレンタルを行なっているようです。ご参考にされてはいかがでしょうか。 参考URL https://cocoloca.jp/location/akishima-school/</p> <p>以上、松林小学校在校の娘の意見を保護者が代筆致しました。 よろしく願い致します。</p>	WEB	5月18日

回答No.	公共施設再配置構想(たたき台ver.2)について、御意見やアイデア等を教えてください	回答方法	掲載日
158	<p>「たたき台ver.2」の、学校・教育施設の整理統合の方向性に反対する</p> <p>手続きの問題 「たたき台ver.1」への意見と市の考え方52番に令和6年教育委員会主催の2回の懇談会があったということだが、どのように地域保護者に広報が行われてどれだけの保護者の参加があったのか数字で示されたい。議会のトビラ(R6.5.1)浜中順議員の一般質問で「施設ごとに検討する会を開いては」という質問に対して多くの市民が参加しやすい意見聴取の方法を検討するとあるが「たたき台ver.1,2」の懇談会にどれくらい多くの市民が参加したのか数字で示されたい。 Ver.1にも意見を提出したが、義務教育の学校の問題と市の住民サービスである施設の整理統合を同等であるかのように「構想たたき台」に載せる事に、羽村市の児童生徒、保護者地域住民の権利と義務である学校教育に対する姿勢に大きな疑念を感じる。 松林小と羽村3中と先行して統合、その他をその後検討するとあるが「これからの羽村市立学校の在り方について」では小中各2項程度への再編をうたっている。令和12年度松林小武蔵野小の児童数を見て、複式学級が必要なほどの児童数とも思われず、松林小についてはほぼ変わらず今後の転入によっては増加の可能性もあり得る。学校の統合は、統合後の学校がどこに設置されるかにより子供たちの学習権、保護者の負担に大きな不公平が生じることは明らかだ。Ver.1に寄せられた意見65に対して市教委の考えにあるように、文科省の適正配置を是として統合を計画するのであれば、羽村市の全小中学校の児童生徒数の変容、最終的にどの小中学校に集約、又はどの地域に新設(用地の確保、予算の裏付けがあるか)するか、先ず示すべきで、はっきりした展望もなしに松林小武蔵野小の統合のみ、あとは検討では松林小武蔵野小の児童、保護者、地域に対してあまりに無責任で、たとえ「たたき台」とあっても容認できない。 Ver.1に対する意見には、小規模・少人数の利点や、統合後の通学の安全を危惧するものが多数あった。「これからの羽村市立学校の在り方」を進めるのであれば、羽村市立学校各校の5年後10年後の姿を明示し、地域・保護者に羽村市の義務教育の在り方を問う(懇談会などというあいまいな形ではなく)場を設ける義務が行政にはあるのではないだろうか。 遠距離通学の安全性が問題にされると、通学バスの利用が話題にのぼる。4月22日に発生したあきる野市の通学バスの事故は、バス事情の厳しさを示している。通学バスが危険ということではない。76歳の運転手しか確保できないというバス業界の人手不足が問題の本質であるということだ。ハムラン、新潟市の部活バス、運転手不足はもちろん、安全な運行のためには相応の対価も必要で、軽々に言えることではない。 住みよい街づくりのために100億超の予算を投じてきた羽村市が、限界集落のような学校統合をする必要があるのか。大型トラックの通り過ぎる都道と流通倉庫ばかり、子どもの声もしない街づくりのために貴重な税を使ってきたのか市政のありようが問われる。 市民のための行政として真摯に子供の福祉・教育を考え、子育て世代が住み良い羽村市を構想するならば、公共施設配置構想から学校統合を切り離し、「これからの羽村市立学校の在り方」を、文科省のいわれるままではなく、真に地域住民のための学校教育となるように、確かなエビデンスを示し、改めて市民、児童生徒、保護者に問うべきだ。</p>	紙	5月18日

回答No.	公共施設再配置構想(たたき台ver.2)について、御意見やアイデア等を教えてください	回答方法	掲載日
159	<p>市公共施設再配置構想たたき台 ver2 について(一市民の考え) 先ず隗より始めよ</p> <p>時代の趨勢による縮小、整理統合の必要性、そして、羽村市が過去には現在とは桁の違う財政調整基金があり不交付団体であったが、自転車操業の組織に変わり果てた現状から待たなしと思っています。 しかし、構想を見ると近隣市同様に国の縮小方針により、多くのコンサル会社に公共施設再配置計画の素案を委託しているように、羽村市もコンサルに提案させた計画に、担当部署が多少変更を入れ作成した案に感じられます。というのも、図書館で初めて令和5年度「羽村市会計決算及び基金運用状況審査意見書」を見たところ、監査委員からは令和5年末財政調整基金残高約20億、市民などにこのことを迅速かつ丁寧に広く公表し、多様な意見を聞くなど、市民、事業者、議会が現状を共有し一体となって厳しい状況を乗り越えていかなければならない。若手職員、定年前職員の退職も散見され、経常収支比率98.5%、行政需要の発生や経済変動に対応できなくなる恐れがあり、発想の転換を図ることを希望するように記載されている。当然に市の上層部は常に頭に置いて各施策の計画・立案の指示を出しているものと思いたいところですが、以前より変化の無い市政運営を見ていると提言が生かされているようには見受けられない。 (私見ですが羽村市の施策、実行状況等、全くPDCAサイクルが回っておらず、市広報では従前から1年度単位の、大まかな決算状況のみの掲載となっており、余計なことは市民に知らせない等、後ろ向きの組織体質や組織の硬直化が感じられます)。</p> <p>私が表記たたき台を読み、実地に回って考える案は、市民間に断絶を生み出している西口区画整理のような混乱を、可能な限り置き換えないようにするために、多くの羽村市民が直接的に自分事と感じる、学校・集会施設の再配置を出来る限りスムーズに、市民の止むを得ないと思ってもらい、同意を得て行えるように、そして現在に至るまで基金残高を減らし、箱物を作ってきた方々の贖罪の気持ちをため、可能な限りこれ以上の出損を少なくするために、「先ず隗より始めよ」と思います。</p> <p>1、行政系施設はI期で整理する(最終的に本庁舎に集約すると計画されているのに、何故に無駄な出費をして移動を繰り返すのか、その為長期の年数を必要とするのか。民間と発想が違いすぎて理解できません。国からの補助金を当てにせずに行うべきと考えます) ア、移転に伴う無駄な費用を複数回発生させない イ、良い機会なので、市民に便利な組織への改編 ウ、現下の材料費の高騰が落ち着いても、職人(外国人含む)の絶対数は減少し、建物取壊し費用(人件費等の高騰継続)の増加は止まらない エ、現下の基金残高から資金ショートが発生するので、市中金利が低い現状の内に起債・長期借入を行い、本計画用の長期資金を確保する(国からの資金交付があるかないか、市民には情報提供がされないのかこのように考えます) オ、整理工程 ①市役所西分室を取壊して更地に ②更地にした場所を使ってコミセンの取壊し ③①～②と並行し市分庁舎取壊し、消費生活センターは何年か通所事業閉鎖後空いていて、水回りが使える「いいの里」のスペースへ。問題は浸水地域にあることと訪問に難点。 ④平日夜間救急センター廃止・取壊し、現状週3回完全予約、人数制限ありと制約が多すぎるので、羽村市も関係している公立福生病院の夜間救急外来への集約と救急相談センター(7119)利用周知 ⑤教育相談室取壊し、移転先は構想記載のとおり。但し適応指導教室の移転先が悩ましい ⑥羽村駅西口土地区画整理事務所の廃止、移転先は構想記載案のとおり本庁舎へ カ、更地の処分 ①コミセン跡地は可能な限り早期売却→人口減少社会では土地の値上がりは都心部のみ、西多摩は人口減少大さいので、下降線になる時期が早いと考える。中途半端な広さの土地だが、ロードサイドなので早期に処分。 ②その他は借地なのか市所有なのかわからないのでコメントなし</p> <p>2、学校・教育施設 ①松林小学校→武蔵野小学校へ統合、第三中学校→第二中学校へ統合、更に将来的には再度の統合も視野に入れつつ、「通学時の安全確保(特に小学校低学年の通学)については再度に併せて検討すると記載されているが、市民にはより具体的に考えられる案を、今回幾つか提示すべきである。 文科省の基準では小学生4kmとなっており、大人でも4kmは速足で40分、ゆっくりで1時間かかります。子を持つ親であれば「再編に併せて検討する」の言葉だけで、統合により我が子を危険な目に合わせることは、簡単に承諾することはできません。そのような人の機微を大切にするために、現時点で今後検討しようとしている方を列挙、その長所短所、費用面、安全面等検討内容を明らかにするべきだと考えます(決して約束という意味ではありません)。 例:デマンド交通→事業主体は民間or市、費用負担は全額利用者or市or一部負担 :はむらんを市が外郭団体を作って緑ナンバー取得団体として組織、7～8人程度の車両で運用→運行本数増、土日運体なしあめの :防犯カメラの設置予定場所 :親に負担かけない方策 :集団登校→朝は可能だが帰りは不可能</p> <p>3、社会教育施設 ①小作台図書館はI期で廃止。開館時間が短い、日曜休館、宅配サービスがある、何故他の地域には図書室が無いのかここだけあるのか。小作台土地区画整理事業を円滑に行う際の暗黙の約束事が現在に至るのか ②「ゆとろぎ」の利用率が低下しているとの記載あるも、利用条件の緩和等、担当部署は市民に使ってもらえる努力をしているのか。私自身もあるボランティア団体で活動しているので痛切に思う。 また、近隣市町村に比較して羽村市は活動グループの数が少ないのも、推測の域であるも影響しているのか。</p> <p>4、コミュニティ・集会施設 統合廃止には触れませんが、上記同様に使い勝手が悪い、また、自治会活動されている方々でさえ、自治会活動だけのための施設との認識です。市が利用率が悪いと評価している根本原因は違うところにあるように思います。</p> <p>5、その他 動物園も何十年ぶりかで見えました。9年3月31日で指定管理者の(株)横浜八景島との契約が終了するようですが、先日クローズアップ現代で、羽村市が税滞納者からの回収の苦勞を放映されていましたが、方が一動物の世話をする企業が現れなかった場合どうなるのでしょうか。負の話題で有名になってしまうのでしょうか。入場者が激減したのも実際に見て来て分かりました。汚い、魅力がない、 園となるのに思っています。また、水上公園の案が近々ゆとろぎで展示されるとのことですが、一方で削減して、また、新たに親水公園を作るとの考えが理解できません。動物公園に親水公園的な物を併設し、来園者増に繋げる事の方が、羽村の堰と根がらみ水田の季節感ある祭事は楽しいですが、年間通じての楽しみの創出を感情論でなく冷静に考えれば理にかなっていると思うのですが</p> <p>最後に、せっかく市民からアイデアを募るとのことでしたので、個人の感情ではなく記載しました。願わくば、多くの市民からの意見・アイデア募集の結果が、担当部署等が市民の考えを聴取したとのアリバイ作りで終わらないことを切に希望します。</p>	紙	5月18日

回答No.	公共施設再配置構想(たたき台ver.2)について、御意見やアイデア等を教えてください	回答方法	掲載日
160	<p>件名:羽村市公共施設再配置構想(たたき台 ver.2)における学校再編・通学基準および計画の効果に関する提言・質問書</p> <p>1. 時代錯誤な通学基準の適用と、実体験に基づく通学路の危険性について</p> <p>本構想29ページには「国の示す通学基準を大方満たすため、通学に大きな支障はない」とあります。しかし、この基準(小学校4km以内)の根拠は1958年(昭和33年)に制定された極めて古い文部省令です。当時は西多摩の農村部であった羽村と、交通量が激増した現代の羽村とは環境が全く異なります。私自身、小学3年生の時に産業道路で時速60kmの車にはねられた経験があります。松林小学校と武蔵野小学校の統合は、子供たちにこのような危険な幹線道路を跨ぐ通学を強いることとなります。半世紀以上前の国の基準を免罪符にし、現代の交通リスクや近年の猛暑を無視して「支障がない」と断じるのは、あまりにも現場の視点を欠いた不適切な判断です。 ?</p> <p>2. 統廃合を回避する取り組みの有無と、自治体を跨ぐ代替案の検討について</p> <p>本計画は、地域住民への事前説明や、統廃合を回避するための前向きな議論や行動(施設維持に向けた取り組み等)が尽くされないまま、「削減の結論ありき」で進んでいる印象を強く受けます。例えば、松林小学校のすぐ裏手には「瑞穂町立瑞穂第四小学校」が存在します。仮に児童数減少への対策が必要だとしても、武蔵野小への統合ではなく、瑞穂第四小との連携・統合であれば、通学距離は確実に短縮され、幹線道路を跨ぐリスクも回避できます。このような自治体の枠を跨ぐ先進的な連携政策は、メディアからも注目され「子育てしやすい街」としての強力なPR(シティプロモーション)にも繋がります。当事者である子供や家族の安全を第一に考え、こうした自治体間連携の議論は一度でも行われたのでしょうか。それとも、最初から選択肢から排除されていたのでしょうか。</p> <p>3. 「統廃合ありき」ではない選択肢の検討要求(施設維持への英知)</p> <p>小中2校化という画一的な基準に縛られるあまり、行政の思考が「いかに統廃合を進めるか」に終始しているのではないのでしょうか。少子化という厳しい現実があるからこそ、安易な削減に走るのではなく、本構想3ページに掲げられている「英知」を大切に、「地域の学校を残し、極力統廃合をしなくて済むような前向きな地域活性化策」をこそ、死力を尽くして検討すべきです。「試みを尽くしたが、それでもせざるを得なかった」という議論のプロセスがなければ、市民の納得は得られません。 ?</p> <p>4. 計画の「目的」と「効果」の曖昧さについて(2点の質問)</p> <p>本構想は、人口減少への対策なのか、財政健全化へのアプローチなのか、その目的と費用対効果が極めて曖昧です。つきましては、以下の2点について明確な数値データをもとにした回答を求めます。</p> <p>①人口動態への効果:学校や公共施設を縮小・削減することで、子育て世代の流出(過疎化)を招くリスクをどう捉えているか。また、本計画の実施により、人口減少に対してどのような「歯止め効果」が期待できるのか(p. 8)。</p> <p>②具体的な財政効果:本計画を実施した場合と実施しなかった場合(現状維持)とで、将来の財政収支にそれぞれ何億円の差(プラス効果)が生まれるのか(p. 11)。 ? 上記の効果を曖昧なまま、本構想を進めてしまうのは、あまりにも無責任と言わざるを得ず、是非、構想を進める上で根拠となるような具体的な提示をお願い致します。 ?</p> <p>5. 責任の所在の明確化について</p> <p>この街の形を大きく変え、将来世代に多大な影響を及ぼす本構想について、誰が最終的な決定権と責任を持って進めているのか(国、東京都、教育委員会、市長など)、その責任の所在を市民に公式に明示してください(p. 28)。 安易な統廃合や施設縮小に走るのではなく、地域住民の声を第一に考えた政策としての改善を強く求めます。</p>	WEB	5月18日

回答No.	公共施設再配置構想(たたき台Ver.2)について、御意見やアイデア等を教えてください	回答方法	掲載日
161	まず意見の書き込み欄がとても探しづらい。なぜトップページにリンクをつけないのか。チューリップの写真よりも有意義なはず。施設の3割も削減するという大蛇をふるうのであればもっと意見を広く集めるようにするべきだと思います。次回があればぜひトップページにリンクをつけていただきたい。 町内会館を減らしても良いが使用していない時間を中高生の勉強スペースとして解放すると良いと思う。 1番気にしてほしいのは人員削減とならないようにすることだと思う。	WEB	5月18日
162	コミュニティセンターがR8年度で運営終了とのこと、エレベーターとエアコンの故障で大幅に経費が掛かってしまい維持することが難しいことは理解出来ますが、市内で唯一調理室のある施設でしたし近隣の市町村でも調理研修の出来る施設は一か所以上ありますので大変残念に思っています。 又、市内で会議等で使用できる研修室も減ってしまいます。機能は代替ということですが、小さなながら調理室のある地域集会施設も統合され数が減ってしまいます。保健センターや消費生活センターでの代替も検討して頂けるでしょうか。研修室の代替はゆとりが考えられますが、現在ゆとりでは学習室等2階の部屋は団体の貸出は不可とされています。それについても市民で運営している営業目的ではない団体には使用可を検討して頂きたいです。	WEB	5月18日
163	公共施設再検討は必要だが、建物だけにフォーカスするのではなく、借地料などのランニングコストを含めた詳細データを市民に公表すべき。スポーツセンターの駐車場代は年1,200万円超、ゆとりぎの駐車場は年1,600万円超かかっており、これまでに支払った累計金額があれば土地を購入できたのではないかと。 施設の建て替え検討時には、建物だけでなく駐車場などの付随コストも含めて検討し、公表すべき。そうでないと市民の血税が特定地主に流出しているようにも見える。	懇談会発言 (松林小学校)	5月18日
164	通学時の安全確保に加えて、通学距離の長さそのものが子どもたちへの負担になるという視点が必要。ランドセルの重さの制限を検討している自治体もある。 はむらんの運行が運転手不足を理由に土日・年末年始に休止されることになったが、全国的に運転手が不足する状況の中、スクールバスの実現可能性が不確実。 松林学童クラブが廃止されると、緑ヶ丘三丁目の子どもたちが武蔵野小学校に通う際、さらに東児童館(武蔵野学童クラブ)への移動が加わり、移動距離が増える。	懇談会発言 (松林小学校)	5月18日
165	緑ヶ丘三町会館が富士見平会館に統合されることに反対。高齢者の自分はそんなに遠くまで行きたくない。家にいることになるが、高齢者に家にいるというのは時代に反している。いくら人口減少・財源減・建物老朽化でも、地域会館を半分以下にするのはあり得ない。	懇談会発言 (松林小学校)	5月18日
166	29ページの「市内のどの位置に学校を設置しても国の示す通学基準を大方満たすため、通学に大きな支障はないと考えられる」という記述に失望。羽村市として独自の考えが必要。統廃合を決めてから通学方法を検討するのは遅い。事前に具体的な対策を示すべき。過去のある県の事例では、統廃合後に「受益者負担」として送迎バスの利用料を親が負担することになった。 武蔵野小学校の皆さんにとっては統合で人数が増え賑やかになって良いかもしれないが、松林小学区には負担になる。統廃合を決める前に市がどのような手当をするのかを示すべき。決まった後に対策が降ってくるのは無責任。 武蔵野小は人数が減っていくが、松林小はこれまでとあまり人数が変わらない。すぐに統廃合が必要なのか。	懇談会発言 (松林小学校)	5月18日
167	説明会に当事者の保護者が少ないことに懸念。 学校統合と公共施設廃止は別問題。義務教育は親だけでなく、大人たち市民全体に良い学習環境を提供する責任がある。公共施設廃止と学校統合を同列に扱うことは、市の教育に対する姿勢に疑問を持たざるを得ない。 松林小学校の令和12年の児童数予測は現状と大きく変わらないため、複式学級すら成立しない状況になるまで統合を急ぐ必要はない。先進国で35人学級を採用している国はなく、30人学級にすれば複数学級成立は十分可能。 区画整理事業が進めば人が増えるはずなのに、人がいなくなり区画整理だけ終わるのは避けるべき。子どもたちに予算を優先配分するなど、子供を大切にすれば市民も増える。 最終目標の小学校2校・中学校2校構想では、スクールバス利用や学童迎えが親の負担増となり、住みやすさの観点から問題がある。 東京都の財源を活用する工夫を検討してほしい。	懇談会発言 (松林小学校)	5月18日
168	市の説明が「施設数・予算が第一優先事項」のように感じる。市民が懸念しているのは統合後の具体的な状況だが、市の説明とかみ合っていない。 スクールバスなどを検討するというが、それ以外に方法があるのか。学校統合が決まった後に考えるのは順序が逆。 西小から西学童は1キロ未満だが、子どもたちは真っ赤な顔で帰宅し、過去に不審者に遭遇した事例もある。1.6キロと1.8キロの差は「たかか」では済まされない。 学校終了後も残って勉強する子どもがいるが、バス運行になったらどうなるのか。 現在の学童でも祖父母迎えが親より多く、仕事の都合で簡単に迎えに来られない親も多い。遠い学校に祖父母が送り迎えするのは困難。 松林小学校のPTA総会のような場で当事者に考えてもらい、真摯に意見を聞いてほしい。	懇談会発言 (松林小学校)	5月18日
169	教育的配慮に基づく学校再編であれば、明確な理由が必要。スクールバスが良い人はそれを使い、地元の学校が良い人には従来通り通わせるべき。それが民主主義。	懇談会発言 (松林小学校)	5月18日

回答No.	公共施設再配置構想(たたき台Ver.2)について、御意見やアイデア等を教えてください	回答方法	掲載日
170	<p>・この構想の根拠となる公共施設等総合管理計画の検討委員会(平成26年設置)は副市長・教育長・部長・課長で構成され、市民は1人も含まれていない。その間のパブコメ3回でも市民の声がほぼ出されず、市民は知らなかった。たたき台ver.2でも根本的な修正がなく、中身に触れない修正だけで進められており、反対する。</p> <p>・松林小学校と武蔵野小学校の統合、羽村第二中学校と羽村第三中学校の統合に反対である。ver.1で寄せられた258件の市民意見のうち、学校に関する意見は104件。その中で統合に賛成という意見は15件だが、「仕方がない」という投票に過ぎない。ver.2で市民意見がどう反映されたかが全く読み取れない。</p> <p>・「通学時の安全については、学校再編に合わせて検討する」と言うが、保護者が知りたいのはバス停位置・時間・乗り遅れ対応など具体的なことだが、全く分からない。</p> <p>・特別支援学級、コミュニティセンター、地域集会施設、市営住宅、中央児童館等について「検討する」「見直す」とあるだけで、具体的に何もわからない。市は白紙委任を求めているように見え、そのような姿勢には賛成できない。</p> <p>・区画整理事業は中止すべき。22年間で167億円、今後6年間で131.8億円を使い、借金返済に22年かかる。市として反省の言葉もなく、市民へどうしようというのはいかがなものか。</p>	懇談会発言 (松林小学校)	5月18日
171	<p>自身の経験として、小学3年生までの分校・複式学級で学んでいたが、4年生から本校に合流した際に、分校出身の方が学力が高かった印象。したがって小規模校・複式学級では教育効果がないということはない。松林小学校については分校のような形で継続を検討してほしい。小学3年生くらいまでは歩いて通える範囲に学校があった方がよい。</p> <p>不登校対策も検討してほしい。他県では、小中一貫義務教育学校を見直す動きもある。不登校児童に合わせたカリキュラム作成などの体制が必要。</p>	懇談会発言 (松林小学校)	5月18日
172	<p>人口減少という背景は理解できるが、最も重要なのは市民目線で住みやすいまちになっているかという点であり、羽村市として住みやすくなる計画であることを胸を張って言えるのか疑問。</p> <p>東京都内でも昭島・立川など人口が増えている自治体もあり、羽村市として人口減少を抑制する取り組みを考えているのか聞きたい。</p> <p>松林小がなくなることは寂しいが、通いやすい環境の担保が大事。松林小学区は瑞穂町の瑞穂四小の方が武蔵野小学校よりも近く、広域的な協力体制を考えるべき。</p> <p>通学距離が延びると、自転車に乗る機会も増える。小学生から自転車などの交通安全教育の充実を提案する。</p>	懇談会発言 (松林小学校)	5月18日
173	<p>公共施設再編の問題を先送りせずに決断したことは尊敬している。</p> <p>ネガティブな意見が多いが、統合により小学校数・教員数は減っても、児童1人当たりの教員数は増え、きめ細やかなケアができるようになる等のメリットをもっと強調すべき。</p> <p>児童の意見も聴取すべき。大人は反対でも、児童たちは人数が増えることを喜ぶかもしれない。</p> <p>松林小学校の跡地にインターナショナルスクールを誘致するなど有効活用して、人口流入を目指すべき。豊かな家庭環境の方たちの流入で税収増につながる可能性もある。</p> <p>時代が急速に変わる中、我々だけ変わらないのは不可能。変化をネガティブに捉えずに、前向きに進めてほしい。</p>	懇談会発言 (松林小学校)	5月18日
174	<p>コミュニティセンターで将棋をしており、休日以外は午後1時～4時半まで利用。高齢者が仲間と共に将棋をすることで精神的に良い。</p> <p>最大の要望はコミュニティセンターの存続。「コミュニティセンターを存続してほしい会」には現在200人近くの署名がある。公共施設は利用者の意見を聞くのが最も重要。それを聞ける羽村市が良いまち。現在約30団体がコミュニティセンターを使用しており、ほぼ全員が廃止は困ると言っている。高齢者にとっての生きがいの場をなくしてはいけない。</p> <p>冷暖房やエレベーターが使えない現状のままでも十分楽しんでいる。そのまま取り壊さずに残してほしいという声から多く出ている。</p>	懇談会発言 (コミュニティセンター)	5月18日
175	<p>コミュニティセンターの将棋クラブで楽しんでいるが、今年6月からの休館中止を要望。昨年休館時に代替場所探しにどれだけ苦労したか。身体が不自由なため新しい場所に行く対応に苦労する。古くても良いので、今まで使っていた場所が一番良い。修繕で直すことができるなら、修繕してほしい。</p> <p>メンバーには90歳近い人もおり、1日1日を大切に過ごしたいという思い</p> <p>空調が壊れていても扇風機があれば問題ない。過去に何度もそのような形でやったことがある。</p> <p>ほかの場所へ移ることがいかに大変か。市は最善を尽くしているとは思えない。我々と相談してほしい。</p>	懇談会発言 (コミュニティセンター)	5月18日
176	<p>コミュニティセンターで将棋とカラオケを楽しんでいるが、年齢的に階段が登れない。エレベーター故障で高齢利用者が減ってしまった。個人ではどうしようもないので市の支援が必要。</p> <p>友達と楽しく過ごせる大事な場所であることを理解してほしい。</p>	懇談会発言 (コミュニティセンター)	5月18日
177	<p>施設の老朽化は確かだ、縮小が必要というのも理解するが、早急すぎたのではないかな。大きなプランではなく、施設ごとに細分化して優先順位を整理してやった方がいい。いきなりこれだけのものを出されると、みんな動きづらく、考えがまとまっていけない。</p> <p>立地による高齢者の移動負担も考慮が必要。コミュニティセンターは空調やエレベーターが故障だから閉館したいという気持ちも理解できるが、先に代替施設を作るか、建物自体を一旦休業してリニューアルする案もある。利用者がいるので、代替場所確保や、壊した後に未来永劫使えるような別機能を入れた総合的な建物に作り替えるのも良い。人口減少で税収が減ることは理解できるが、既存施設をリニューアル・リノベーション検討すべき。</p> <p>冷房レンタルなども含めて精査した上で、コミュニティセンターをもう少し使わせてあげても良い。</p>	懇談会発言 (コミュニティセンター)	5月18日

回答No.	公共施設再配置構想(たたき台Ver.2)について、御意見やアイデア等を教えてください	回答方法	掲載日
178	羽村第二中学校と羽村第三中学校の統合に関しては陳情書が出ており、統合を望む声大きいのに、なぜ着手していないのか。 施設ごとに個別に再編をすれば良いという意見は主張は至極真つ当。区画整理事業は個別ではなく大きな面からやったから、今ごちゃごちゃになってしまった。再配置構想でも同じことをやるのか。再配置構想で個別に着目して、市民の声があるところから着手することが当たり前。市政は市民目線であるべき。市長は命を懸ける覚悟で座られているはず。 市民がわざわざ来ているのは市長・副市長がどういう覚悟で臨むのかを聞くためである。いつも意見を聞いたら聞きっぱなしで終わり。だからアリバイ工作だと言われる。せっかく市長と副市長がいるのだから、「今日来て良かった、市民の一言が市政を変えた」と思わせるような会にするのが重要。	懇談会発言 (コミュニティセンター)	5月18日
179	統廃合ありきの結論に感じる。統廃合をしないための検討や議論があったのか。その上でやむを得なかったということであれば、市民としても理解できるのではないかと。 財政が厳しいのは理解するが、人口増加に向けた他のアプローチもある。実際に昭島より都心側の自治体は人口が増えている。人口を増やし、働き盛りの課税世帯を他市から呼び込めば、税収は上がる。小中学校を2校ずつに統合すると、「羽村で子育てしやすい」と思われなくなるのではないかと。子育て世帯は税収の要となる世帯。課税世帯が羽村から去り、財政が圧迫されるのではないかと。	懇談会発言 (コミュニティセンター)	5月18日
180	公共施設の整理統合と少し外れるが、西多摩地域は医療が脆弱。医者が少なく、三次救急になると西多摩地域から出ていく人も多い。平日夜間急患センターの見直しも分かるが、保健センター1つに集中するのはどうか。西多摩全体を考えて、人間の安全・安心を考えるなら、医療のことを考えないと、羽村市に住む人たちも安心して住めない。	懇談会発言 (コミュニティセンター)	5月18日
181	この構想は、何か法律や条例に基づいているのか。行政として法律や条例に基づいてやるべき。何を根拠にやっているのか。	懇談会発言 (コミュニティセンター)	5月18日
182	将棋クラブでは、昨年のコミュニティセンター休館中にいこいの里とろろぎを利用した。市の職員に代替施設の斡旋を依頼したが、自分たちで探すように言われた。いこいの里は不便な場所であり、はむらんも乗り継がないと行けない。そのため非常に苦労した。	懇談会発言 (コミュニティセンター)	5月18日
183	施設が休館する場合、代替施設を市が用意するのが当たり前ではないか。お金まで余計に取られ、踏んだり蹴ったりである。市民として情けない。	懇談会発言 (コミュニティセンター)	5月18日
184	時々、福生市民会館でカラオケをやっている。5,000円~6,000円かかるが、福生市の財源になっていると思う。羽村でもやれば良い。ゆとろぎで寄席などのイベント時に1人5,000円徴収すれば財源になる。	懇談会発言 (コミュニティセンター)	5月18日
185	代替施設を用意してほしいと言っているのに、逆にどうしたらいいか聞いていて驚いた。前回の懇談会で、小学校の通学時の安全確保に関して、スクールバスの実現性の疑義を指摘したが、今日のように学校統合後に「市民の方に何か良い案はないか」と聞かれそうで心配。 いろいろな意見を言っても、どれだけ計画に反映してもらえるのか心配。残念な思いが山ほどある。信頼される羽村市になるためにもお願いしたい。引越し時に子育て世帯が最初に考えるのは学校の近さ。学校が近くないと誰も引越さない。	懇談会発言 (コミュニティセンター)	5月18日
186	前回は人口推計が減り過ぎではないかという質問があった。未来予測だから、10%減・20%減・30%減と段階に分けて発表すべきと伝えしたが、ver.2では反映されていない。 昭島や立川の人も増えているのに、なぜ青梅・福生・羽村だけこんなに減るのか。羽村の人口がどう減るのか、人口推計の学術的な議論をする場を作してほしい。	懇談会発言 (コミュニティセンター)	5月18日
187	小作台小学区に在住している。学校統廃合の当事者である若い保護者の出席が少ないことが残念。小さい子どもを持つ保護者に代わって意見を述べたい。 統廃合による通学路の安全対策について、市域の端にある小作台小学校が廃校になる可能性が高いと考えられるが、この地域の子どもたちがどこへ通うのか、具体的な通学路安全対策を示してほしい。小さな1年生が大きなランドセルを背負って4キロ通学することは大変。特に暑い夏場は大変な負担。具体的な対策が示されない限り、この案への賛同は難しい。	懇談会発言 (小作台小学校)	5月18日
188	小作台図書室を利用している。小作台地域は羽村市の中心から外れており、市民サービスや施設が少ない中で小作台図書室が設置されたと考えられる。 廃止の理由が利用者減少や固定化と言うが、蔵書数や開館時間といったサービス内容に起因しているのではないかと。蔵書を増やし開館時間を延長すれば利用者は増えるのではないかと。	懇談会発言 (小作台小学校)	5月18日
189	小作台図書室ができる以前、図書館から団体貸し出しを受け、子どもたちのためにプレハブで地域文庫活動を行っていた。その成果が認められ、小作台図書室の開設につながったという経緯がある。 小作台図書室廃止となると聞いて時代の流れを感じたが、本当に残念である。	懇談会発言 (小作台小学校)	5月18日
190	前回の説明会で、松林小学校の子どもたちは瑞穂町の四小の方が通学が楽ではないかという意見が出ていたが、愛媛県と高知県の県境に市域を超えた小学校が存在する例もあるので、市域を超えた統合も検討したらどうか。 青梅市や福生市も小中学校を統合していく方針であるが、通学は家から近いほうが選択要素として大きい。小規模でも7校を残した方が人口減少率が、他自治体と比べて少なくなるのではないかと。 西口区画整理事業も予算を削ったり、事業期間を長くするなど、時間をかけて対応することも考えられる。 この計画は今後の市政にも大きく影響する。総務省の方針だけでなく、羽村市独自の考え方で進めてほしい。	懇談会発言 (小作台小学校)	5月18日

回答No.	公共施設再配置構想(たたき台Ver.2)について、御意見やアイデア等を教えてください	回答方法	掲載日
191	市役所の近くに住んでいるが、コミュニティセンターをなくしてしまうことに衝撃を受けた。今の時代、コミュニティは重要であり、なくすのであれば、代わりとなる施設を具体的に示してほしい。様々な年代みんなが居場所と感じられる場所が今の時代は必要である。 羽村は心の優しい方がたくさん住んでおり、住みやすい場所だと思うので、その温かい感じをちゃんと継続してほしい。 コミュニティセンターの視聴覚室や調理室など、音を出せる場所や創作活動のできる場所が減ってしまう。ゆとりぎは利用料が高く、利用団体も多く場所の取り合いになる。みんなで分け合って利用できる場所を作ってほしい。 昭島市ではサークル登録で施設が無料で使用でき、市民の表現活動が促進され、人口流出が抑制されていると思う。羽村市も付加価値を付け、全ての人が羽村に住んでよかったと思えるようにコミュニティを重視してほしい。それは企業がやるのではなく、市がやってほしい。	懇談会発言 (小作台小学校)	5月18日
192	昭島市は施設が無料であるということだが、羽村市もかつては無料の公民館があった。文化活動を広く実施できる羽村市になるよう、財政状況が大変なのも理解するが、公民館の設置も検討してほしい。	懇談会発言 (小作台小学校)	5月18日
193	小作台地区には新築住宅が増えており、小さな子どもを持つ世帯も増えている。私たちが子育てしていた頃は、中央の図書館に行かなければならなかった。高齢者は免許返納後は車に乗れず、中央図書館への移動は大変である。自転車も危ない。何らかの形で小作台図書館の存続を願う。	懇談会発言 (小作台小学校)	5月18日
194	小作台図書館がなくなるのは残念である。 瑞穂町の図書館には子どもたちが学習できる部屋や、ひだまりで過ごせるスペースがあり、本も読みやすい配置になっている。そのような子どもを大事にする町で育った子どもは、将来その町に戻り貢献するのではないか。 本の宅配サービスの話があったが、自分で選んだ本が届くだけで、図書館では手に取って選べるのが大切である。 また地震などが起きた際、小作台図書館や小作台小学校がなくなってしまうと避難場所が確保されるか心配している。	懇談会発言 (小作台小学校)	5月18日
195	皆さんが小作台図書館は残してほしいと要望しているのに、市は一つにしようとしている。調理室の件も同様で、2年前から子ども食堂のボランティアの方の使用を依頼しているが聞き流されている。 小金井市の市長は毎週住民と対話している。小金井市の公営保育園削減は人材確保と民間活性化の観点から一定の合理性がある。一方、羽村市の再配置構想の合理的理由がわからない。 このままでは羽村が駄目になる。何とかしなければと思い今日ここに来ている。 10年20年後の羽村を作る計画だからこそ、30年後の人たちが当時の議論を理解できるよう記録を残すべき。住民目線、職員目線に立った対応を求める。	懇談会発言 (小作台小学校)	5月18日
196	羽村市シルバー人材センターから派遣され、学校の用務員を務めている。各学校には、派遣職員が2名、夜間警備2名で合計40名がシルバー人材センターから派遣されている。学校再編により派遣校が減少すると雇用機会が失われる懸念がある。雇用の拡大についても検討してほしい。	懇談会発言 (小作台小学校)	5月18日
197	今日の懇談会の参加者は昭和生まれが中心であり、高度経済成長期に様々なサービスを受けてきた世代である。その時代に建設された公共施設が老朽化し、このサービスをいかに続け、次世代に繋ぐかが私達の責任であり、こういった中長期計画である。 公共施設の大事さは身に染みて理解しているが、人口減少と経済的課題から公共施設を維持することがどれだけ大変かも理解している。そのため、中長期計画を立てて、現在公共施設を使っていない若い世代の方にも公共施設を残せるように、ここで踏み切らなければならないのだと感じている。 町内会館には調理施設がある。そうした場所で子ども食堂を実施し、高齢者との交流サロンに発展させるなどの実績があり、そのように、施設を有効活用する事例を増やすことが良い。 音楽練習場所の確保には、富士見公園のクラブハウスや水上公園の今後の活用の中で新たに活動場所を作ることも考えられる。 後の世代が羽村市に住んでよかった、このような公共施設が残っていてよかったと思えるような施設再編を実現してほしい。 また情報発信をYouTubeなど多様な手段で行い、参加できない市民にも内容が伝わるようにしてほしい。	懇談会発言 (小作台小学校)	5月18日
198	3月の町内会連合会会長会で、地域集会施設を23から10に削減する市の案に対し、コンパクトなプレハブ建物として23全て残すという意見が出たが良い案だと思う。ぜひ検討してほしい。 空き家の活用という意見もあったが、防犯や騒音などの観点から絶対やめてほしい。既存の場所でコンパクトな活用が最適である。	懇談会発言 (小作台小学校)	5月18日
199	シンプルな話として、公共施設の利用性を高め、利用料を下げたから、それでも利用率が上がらなければなくせばよい。 昨年議員報酬を上げ、その一方でゆとりぎ使用料も上げた。受益者負担の名目だが、利用率が下がった。これは理屈が通らない。 公民館法の適用で無料だった公民館を生涯学習センターゆとりぎに変えた。施設は立派だが維持管理費がかかりすぎ、結果使いにくい。 前市長の責任もあるが、現市長が責任を持つ立場である。空調費などで数千万円の無駄があり、コミュニティセンターの扇風機さえ買えない状況はどうにかしなければならぬ。 再配置構想における税制メリットの有無についても回答がない。 住民たちの生の声も聞かない。職員の苦労はこうした不透明さから生じている。	懇談会発言 (小作台小学校)	5月18日